

シーリングニュース

41

- ◆ASC国際会議報告
- ◆1991年展望



冬号

1991.1.25

日本シーリング工業会



東レ・ダウコーニング・シリコンの 建築用シリコンシーラント



信頼と実績でお客様のニーズにお応えします。

東レ・ダウコーニング・シリコンのシリコンシーラントは、耐候性・耐熱性・耐寒性・耐久性・ゴム弾力性などの優れた高機能を持ち、ほとんどの建築部材をつなぐ接着・シーリング材として、高層ビル・一般住宅などの現代建築に欠かせない材料となっております。

東レ・ダウコーニング・シリコンでは、より完成度の高い建築物をめざすニーズにお応えするため、信頼と実績にうらづけされた高品質な製品を取り揃えています。

※資料をご用意しておりますので、ご請求ください。

シリコンと先進技術で世界を結ぶ

東レ・ダウコーニング・シリコン株式会社

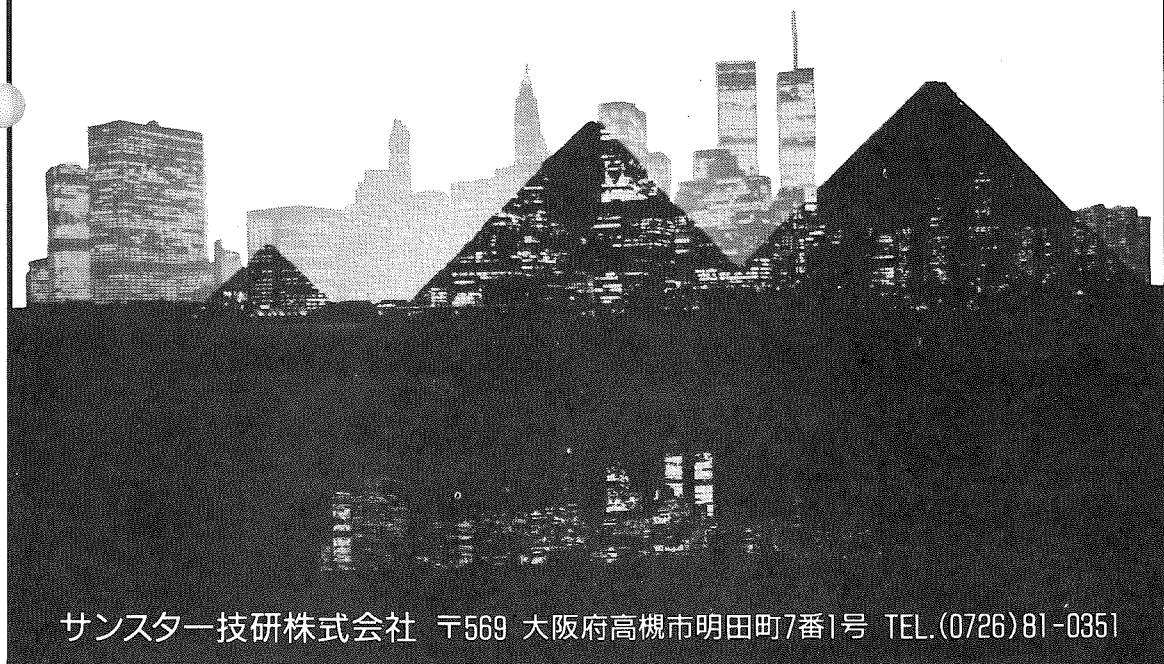
本店・営業本部/東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館) 千103 TEL03(3246)1641代表

大阪営業部	TEL 06(376)1251代表	南関東営業所	TEL 0462(22)1595代表
名古屋営業部	TEL 052(563)3951代表	北関東営業所	TEL 0485(26)3972代表
九州営業所	TEL 092(712)6158代表	東関東営業所	TEL 0436(22)5743代表
広島営業所	TEL 082(249)7811代表	仙台営業所	TEL 022(227)9528代表
北陸営業所	TEL 0762(23)1585代表	北海道営業所	TEL 011(231)5281代表

SUNSTAR

文明の接点。

もし、シーリング材や接着剤が存在しなかったら、現在の都市の様相は多分に異なるものであった事でしょう。おそらく高層建築は今あなたの目の前にあるものとは全く違う表情をもっているはずです。この現代都市の象徴とも言える高層建築を構築する欠かせない要素として、私たち、サンスター技研のご提供するシーリング・接着技術があります。人が集う場所としての都市、そこにある建築物の様々な接点を、これらの技術が支えているのです。私たちは「人と人の接点としての都市、そして、文明の接点としての都市を支えるお手伝いをしている」そんな気持ちを大切に、より優れた製品をお届けしたいと考えています。



サンスター技研株式会社 〒569 大阪府高槻市明田町7番1号 TEL.(0726)81-0351

KANEKA

建築美を支える。

変成シリコンポリマー

カネカMSポリマー®



超高層ビルからプレハブ住宅まで、

目立たないけれど
高反応で定着しています。

- ▲耐久性、耐候性に優れています。
- ▲作業性が良好です。
- ▲石材、タイルなど目地周辺を汚染しません。
- ▲塗料の付着性が良好です。
- ▲超高層ビルから小住宅まで幅広い用途に使用できます。

きれいなシーリング

鐘淵化学工業株式会社

機能性樹脂事業部 液状樹脂営業部

- 本 社 〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
電話：大阪(06)226-5331(ダイヤルイン)
- 東京本社 〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
電話：東京(03)3479-9675(ダイヤルイン)

注目の的！

JIS 耐久性区分 9030 に合格

高性能一成分形ポリウレタンシーラント



JIS A 5758
PU-1-9030-A-N
許可番号 386031

AUTONSEALER 101A



- 特長
 - 一液ですので、計量、混練、脱泡などの手間がいりません。
 - モジュラスと伸びとのバランスが良く、振動伸縮に対する追従性が優れています。
 - 多くの被着体に対し非常に優れた接着性を持っています。
 - 硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
 - 耐候性、耐熱耐寒性、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたり高性能を維持します。
- 荷姿
 - カートリッジ (320ml) 25本入りカートン箱
 - ミニペール缶 (4ℓ) 2個入りカートン箱
 - ペール缶 (12ℓ)
- 色
 - グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー

製造元

オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋 2-23-1 ☎(03)3437-3482(代表)
大阪市淀川区東三国 1-12-15 ☎(06)396-1421

発売元

株式会社 岩田商会

札幌	011-741-3302	名古屋	052-231-8591
仙台	022-266-1007	大阪	06-356-1121
東京	03-3438-0511	広島	0822-49-7642
長野	0262-93-4328	福岡	092-472-0235
浜松	0534-64-6331		

セカイチョー建築用 2成分形シーリング材

**セカイチョー
シーラー
TH** 作業環境に幅広く安定した接着性と長期にわたる美観性が得られます。また使用実績のある基材です。

**セカイチョー
シーラー
MS** ドライタイプポリマー使用によりシール面の汚れが大幅に改善されました。今後もバランスの取れた諸性能で幅広い用途に対応できます。

**セカイチョーシーラー
PU-213** 4ℓセット、6ℓセットの使いわけにより、施工時の合理化が可能です。仕上塗材を施す場合には最適です。

ポリサルファイド系

4ℓセット(顔料別)
N-2~N-81(12色)
PS-2-9030-A-N



ポリサルファイド系

4ℓセット
N-110(オフホワイト)(1色)
PS-2-9030-A-N



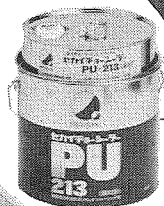
変成シリコーン系

4ℓセット(顔料別)
M-2~M-13(9色)
MS-2-9030-A-N



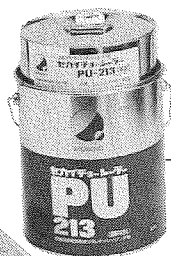
ポリウレタン系

4ℓセット(顔料別)
P-2~P-13(5色)
PU-2-8020-A-N



ポリウレタン系

6ℓセット(顔料別)
P-2~P-13(5色)
PU-2-8020-A-N

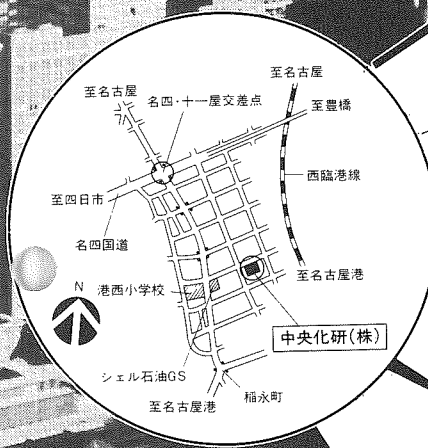
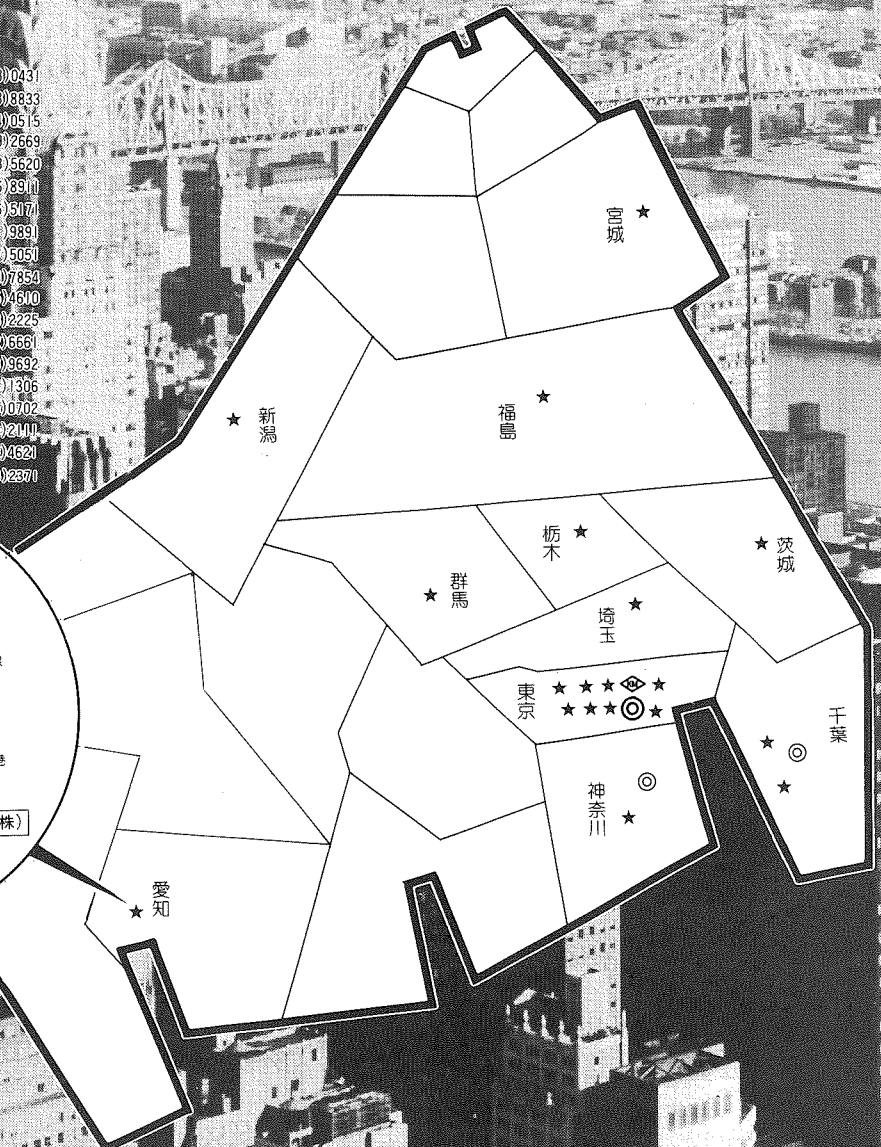


世界長株式会社

本社/〒663 兵庫県西宮市津門大筋町8-39 Phone(0798)26-5724(化成品事業部)
営業所/名古屋(052)722-3301 広島(082)295-0371 福岡(092)474-5582
東京(03)3462-5161 前橋(0272)23-5675 仙台(022)295-7051
札幌連絡所(011)221-2102

あらゆるニーズに対応する 化研のネットワーク

- ★東日化研産業株 宮城県仙台市 Tel. 022(228)0431
- ★ビルト産業株 福島県郡山市 Tel. 0249(23)8833
- ★水戸化研株 茨城県水戸市 Tel. 0292(54)0515
- ★材 株 東京都大田区 Tel. 03(3739)2669
- ★ 株 東京都豊島区 Tel. 03(3983)5620
- ★株酒田 東京都江戸川区 Tel. 03(3636)8911
- ★城東化研株 東京都葛飾区 Tel. 03(3636)5171
- ★城北化研株 東京都荒川区 Tel. 03(3891)9391
- ★日商マテリアル株 東京都練馬区 Tel. 03(3997)5051
- ★横浜名商会 東京都新宿区 Tel. 03(3374)7854
- ★多摩化研株 東京都立川市 Tel. 0423(35)4600
- ★クラタ産業株 千葉県千葉市 Tel. 0472(58)2225
- ★株シーピーエム 千葉県八千代市 Tel. 0474(82)6681
- ★埼玉化研株 埼玉県大宮市 Tel. 0485(33)9692
- ★株エーシーエー 埼玉県川島市 Tel. 045(664)1305
- ★飯研工業株 群馬県大田市 Tel. 0276(25)0702
- ★新協タイム販売株 新潟県長岡市 Tel. 0253(29)2111
- ★ベスト化研株 栃木県宇都宮市 Tel. 0285(60)4621
- ☆中央化研株 愛知県名古屋市中区 Tel. 052(334)2371



化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.

〒105 東京都港区西新橋3-8-1 (第2鈴丸ビル)
 営業一部 TEL. 03(3436)3011代 FAX. 03(3436)3914
 営業二部 TEL. 03(3436)2391代 FAX. 03(3436)3459
 営業三部 TEL. 03(3436)3014代 FAX. 03(3435)1076

きわめて美観、 ひたすら景観。



東京都新庁舎(新宿・新都心)

つまり、チオコールLP[®]を原料とするポリサルファイド・
シーラントは、「自ら汚れない、廻りを汚さない」と
いうことです。これは、建物の美観を保つ上で極めて重要な
特性です。街の景観を保つチオコール・シーラントは、
豊富な実績を持ち高く評価されています。

チオコール LP[®]

東レチオコール株式会社

本社：〒279 千葉県浦安市美浜1-8-1(東レビル5階) ☎0473(50)6151代

目次

- 9 会長挨拶、顧問・日シ工連会長近況報告
- 13 工業会1年の歩み
- 15 1991年を展望する
- 19 俳句“親鸞ゆかりの寺”(加藤正守)
- 21 リレー随筆その6“思い出の山岳写真”(児玉暢夫)
- 24 随筆“住宅寿命の国際感覚—十年単位と百年単位—”
(辰巳正則)
- 26 随筆“年頭所感”(古田 武)
- 28 会員会社紹介(東芝シリコン・日東電工)
- A S C国際会議報告
31 (平野英作・広石真孝・斉藤昭博・篠沢一義・脇本広幸・
斎藤聡一郎)
- 40 各地からのたより
- 43 刊行物案内
- 44 日本シーリング工業会の概要

変成シリコン系2成分形シーリング材

ニッシーター・MS

ポリウレタン系2成分形シーリング材

ニッシーター・ウレタン

ポリサルファイド系2成分形シーリング材

ニッシーール

ブチル系1成分形シーリング材

スレニシーール

〈製造元〉

日興化学工業(株)

■ ☎135 東京都江東区白河4-9-5

■ ☎東京03(3642)7105~6・7155

性質・用途	アミノキシ型			酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
	1成分形	2成分形	3成分形			
低モジュラス (メタル・PCカーテン ウォール・土木用)	トスシール 10 ☺*1	トスシール 361 ☺*2				
一般用 (ガラス・一般建材用)				トスシール 371	トスシール 380	トスシール 381 ☺*3
中・高モジュラス (ストラクチャル グレイジング用)		トスシール 62		トスシール 1200		
防カビ性 (バスタブ用)		トスシール 63		トスシール 73		トスシール 83
超透明 (ショーケース用)				トスシール 78		
難燃性 (防火区画内用)		トスシール 64				
難燃充填シール用 (シリコンフォーム)		トスシール 300				
流動性 (土木用)		トスシール 67				
マスチック型 (油性補修用)			トスシール 90			

*1 JIS A 5758 'SR-1-10030-A-N'
 *2 JIS A 5758 'SR-2-10030-A-N'
 *3 JIS A 5758 'SR-1-9030G-A-N'

認定品 許可番号 第381142号

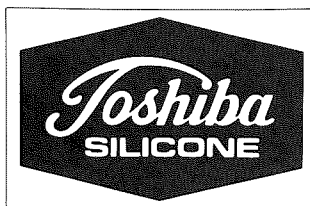
信頼のブランド

トスシール

各種用途に適した 製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足のかゆく製品となつて、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコンにご相談ください。



東芝シリコン

東芝シリコン株式会社

本社/☎106 東京都港区六本木6-2-31
 ☎(03)3479-3501(代) ●支店/大阪・名古屋・静岡
 ●営業所/札幌・仙台・宇都宮・熊谷・厚木・松本・金沢・広島・福岡

年頭所感

日本シーリング工業会
会長 大泉 洋一



新しい年を迎えるに当たり誌上を借り、業界の皆様方をはじめ会員各位に新年のお慶びを申し上げます。

私は昨年5月の総会において会長に選任され、初めての新年を迎えましたが、会長就任に当り申し上げました三つの方針に添い、今年度も工業会の運営に当りたいと存じております。ここに再度その方針を掲げ昨年度を反省しつつ、今年度の実施を確認いたしたいと思ひます。

第一は工業会活動の活発化であります。会員相互の信頼感を高め、会員各社の質的向上、充実を期すことを目的といたしました。最近どの業界におきましても人手不足による物流費の上昇は経営を圧迫、悪化させておりますが、各社ともそれぞれ対応策を講じ実施されていると思ひれます。引続きイラクショックとでも言ひますが、原油の高騰によりシーリング材原料並びに副原料が値上りして参りました。我々は再度経営の健全化を見直さねばならないと存じます。会員各社の経営が健全でなければ、健全な工業会活動は不可能と思ひます。

第二はシーリング業の地位向上であります。これには技術レベルの向上・管理士制度の充実と普及・対外的技術の交流を考えました。

昨年度は特筆すべき大事業としてASC国際会議への参加がございます。当工業会では平野副会長を団長とし、広石技術副委員長を論文発表者として派遣、それに会員有志の参加を得て14名が出席いたしました。その成果は団長の報告にございますように、日本のシーリング技術は群を抜き世界をリードしているように思ひますが、反面、現在世界的に問題となっている環境問題には全く手つかずであることが反省させられ、今後の一つの課題であることを痛

感いたしました。

第三は材・販・工の協調により秩序ある業界の育成を取り上げております。これに就きましては、各地区毎に当会支部とディーラー並びに工事業協同組合の方々と連携を取り、諸問題を協議してありますが、今般一歩進め当工業会と工事業協同組合連合会幹部による本部レベルでの問題点協議の場を持ちました。今後定期的にこの会合を持ち緊密な連携を取りつつ、共存共栄の実を挙げてゆきたい所存であります。

さて、来年1992年5月25日～27日にかけて、上記の国際会議を日本で開催することになっております。今年度はこの会議の準備が大きな仕事となります。遠来の参加者に有意義であったと満足して頂けるように、併せて現在の日本の姿を認識して頂けるよう万全の体制でのぞむつもりであります。

今年度も建設業界は引続き堅調と言われておりますので、シーリング材の出荷も現水準で推移することと思ひます。しかし物流費や原料・副原料の価格動向は予断をゆるしませぬ。業界の皆様方も状況をご理解頂き、工業会の健全な発展にご協力賜りたいと存ずる次第であります。

未年に還暦を思う

日本シーリング工業会顧問
東京工業大学教授 小池 迪夫



今年未年…未とは

平成3年未年の元旦を迎えた。手持ちの辞書によると、未(ひつじ)とは「①十二支の第八。②南から西へ30度の方角。③昔の時刻の名。今の午後2時頃。またおよそ午後1時から3時のあいだの時刻。」とある。

①十二支の第八；これは筆者の生まれ年だから知らぬ訳がない。

近況報告

問題なのは、これからだ。

②南から西へ30度の方角；地図をみると、我が家の南西30度は伊豆の伊東あたりになる。先年伊豆大島から伊東へ向けて噴火が迫ってきたが、筆者にも何か起こりそうな悪い予感がなくてもない。

③昔の時刻の名；これは勤め人が何となく元気が出ない時刻に当たる。筆者の人生を思わせて具合が悪い。

還暦を迎えた

今年還暦を迎えた。還暦とは十千十二支の一巡を意味し、数え61歳のことだという。

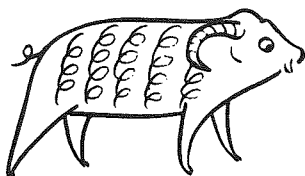
70歳を古希というくらいだから、昔は人の一生にとって還暦は重要な意味をもっていたに違いない。しかし、今や数え61歳は人生の通過点に過ぎないが、周りの人が面白がって騒ぐ。会社の停年がこの年齢付近にあるのだから、人生の句読点ではあることは否定しない。しかし老人の仲間入りの響きが強い「還暦」は、理不尽にも押しつけられた暦の悪平等でしかない。まだまだ老人にされてなるものか…と釈然としない年頭である。

ところで今年こそ

還暦を迎えて老人の仲間入りだと、周りで騒ぐ奴らの言いなりに老人にはなりたくない。

しかし、老境は自分が意識した時に始まるという。既にこんな駄文を書いてしまった筆者は、もはや老境から逃れられないというのか。何としても腹立たしい限りだ。

既に、還暦を迎えた諸先輩たちよ、何かいい知恵はないものか。先輩たちが老いと戦ったノウハウを



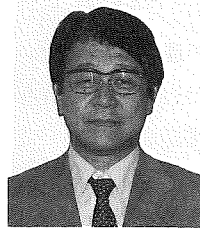
教えて頂けないか。

さもないと、××は筆者より〇〇歳年上の物凄い老人だと、あたり構わず言いふらすに違いない…心境である。

誰か、筆者の口を封じるいい知恵をお持ちではないか。

スカイライトの研究を

日本シーリング工業会顧問
千葉大学助教授 加藤 正守



新しい建築の流れの中で、アトリウム建築が増えている。この種のビルは天井部にスカイライトを用いることが多く、採光性、開放性、快適性などが評価され、ホテル、オフィスビル、商業施設などに広がっている。アトリウムの防災設計は、基本的には早期発見、早期消火、早期避難であることはいままでのまではないが、スカイライトの防水設計も極めて重要である。

スカイライトの防水設計は、雨水及び結露水に対して次の項目を考慮する必要がある。

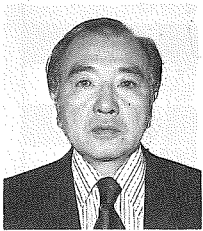
1. 適切な面クリアランス、エッジクリアランス、かかり代を確保すること。
2. グレージングジョイントは排水機構を考慮し、2段階システムであること。
3. グレージングシーラントは高性能のシーラントまたはガスケットを使用すること。
4. パネルジョイントは防水機能のほかに大きさによってはエキスパンション機能を有すること。
5. スカイライトの勾配は15°以上で、結露水の受け皿を設けること。

アトリウムのスカイライトは、部分的にみて施工が困難でありまた構成部材の寸法精度が必ずしもよくない。建築基準法の防火の規定によって網入ガラスまたはその複合ガラスが用いられており、その安全性からも防水設計は極めて重要である。一般構法の場合、地域によっては設計上積雪荷重を考慮する

必要があるとともに框または押縁が雪止めとなり、その帯溜水による漏水の可能性もある。スカイライトのガラスは、一般開口部に比較して破壊しやすいといわれており、万一破壊した場合の補修が極めて困難であることを知らなければならない。米国、カナダでは、デザイン上からスカイライトにSSG構法が用いられていることは興味あることである。

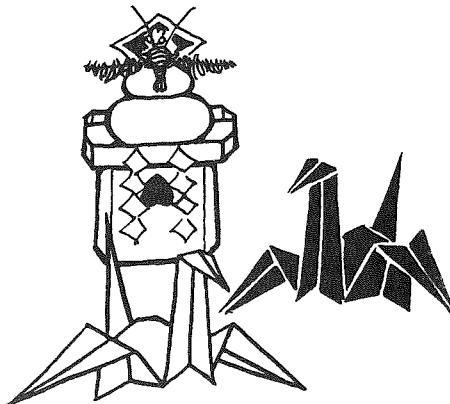
平成3年新春を迎えるにあたって

日本シーリング工事業協同組合連合会
会長 山本 勇



平成3年新年明けましてお目出とう御座います。今上陛下には、昨年末、目出たく天皇即位の礼を、つつがなく終わられました。大正末期生まれの私などは、始めて接する、一生に一度の歴史的行事でした。一般参賀に参列し天皇陛下よりのお言葉に接しながら、ただただ感激し、涙、涙がしばし止まらず流れて、一心に日の丸の旗を振り続け、天皇陛下万歳と叫び続けるのみでした。若き学生時代、兵役で遠く北支、南方の戦地にいた時、終戦でやっと祖国に帰還した頃、終戦後の混乱した社会を夢中で生き抜いた時代、厳しい世界情勢の中を躍進して延びゆく日本を目しすることが出来た頃、又昭和天皇の崩御の報に接し、愕然として自分を見つめ直した事等が、次々と走馬燈の如く、頭の中を駆け廻り、一人涙を禁じえませんでした。生を受けてこのかた、天皇陛下を、これ程身近に感じたこ

ともありませんでした。当日参賀参列の11万7千人の姿を見て、この姿こそ、本当の日本人の心であり、姿であり、天皇家と我々国民の絆であると痛感しました。戦地にいた頃、なんとしても素直に天皇陛下万歳を叫んで死ぬる気持ちになれないうちに私は、一瞬愕然たる思いにおそわれました。が直ぐに、日本国民として、参列の大勢の人々と日の丸を打ち振る自分に、日本国民として生を受けたことに對し、心より幸福を感じていました。新天皇が生まれた。そして我々国民と共に元気で仲良く、一緒に祖国の繁栄を目指し、世界の平和に向かって頑張っつてゆきましょうと述べられました。平成3年は、まさに、平成そのものの年の誕生となるであろうと確信しました。わが日本シーリング工事業界も、新天皇陛下と共に、同志一同が手を握り協同組合連合会を誕生させました。わが日シ工連も祖国と共に終戦後から今日に至るまで幾多の苦難時代を乗り切つて参りました。今日世界各国は新時代の平和と安定を求めて激動し、解決策を見出すべく、一心不乱に協議を続行しています。日シ工連も新時代にむけ、歩き出さねばなりません。いや既に前進の一步を踏み出しました。“シーリング防水技能士とシーリング管理士の活用策の推進”であり、“プロ技術者団体たる日シ工連組織”の社会への宣伝であります。日シ工連会員の尚一層の奮起を心よりお願いすると共に、発注先各位の皆々様の絶大なる御支援と御理解を深くお願い申しあげます。年頭にあたり、皆々様の益々の御健康と御繁栄をお祈り申しあげます。



謹 賀 新 年
完璧なるプロの仕事!!

スリーピー
P.P.P(3P)
・Perfect
・Professional
・Personal

優秀な技術管理(シーリング管理士)と
国家認定技能(防水技能士)をもつ団体!!

シーリング防水施工の発注は
"プロの集団" 右記団体会員へ

日本シーリング工事業協同組合連合会

本部 〒105 東京都港区浜松町1の11の11康進ビル4F
Tel.03(3432)5788 Fax.03(3459)9575

北海道地区	北海道シーリング工事業協同組合
住所	〒060 札幌市中央区北2条東10-15-28
電話	011(251)3364
東北地区	東北シーリング工事業協同組合
住所	〒982 仙台市若林区中倉3-18-16
電話	022(235)3218
関東地区	東日本シーリング工事業協同組合
住所	〒135 東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル
電話	03(3641)9561
中部地区	中部シーリング工事業協同組合
住所	〒460 名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル
電話	052(201)7086
東海静岡地区	静岡県シーリング工事業協同組合
住所	〒422 静岡市西島473-1
電話	0542(83)9530
北陸地区	富山県シーリング工事業協同組合
住所	〒930 富山市柳町4-9-1
電話	0764(33)8966
近畿地区	関西シーリング工事業協同組合
住所	〒541 大阪市中央区島町2-1-5 大阪府建団連会館
電話	06(946)2226
中国地区	中国シーリング工事業協同組合
住所	〒730 広島市中区八丁堀1-12 キョーリンビル
電話	082(222)7578
四国地区	四国シーリング工事業協同組合
住所	〒790 松山市二番町4-1-5 愛媛県建築士会館
電話	0899(47)2300
九州地区	九州シーリング工事業協同組合
住所	〒810 福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル
電話	092(781)5660

S R シール

- S70 1液変成シリコン系シーリング材
S50 2液変成シリコン系シーリング材
U73 1液ポリウレタン系シーリング材
U31 2液ポリウレタン系シーリング材

S R ボンド

- E24 2液エポキシ系目地充填材
E27 補修用注入型2液エポキシ
(液状・グリス状・クリームペースト状)

エッジシール

網入り板ガラス防錆ブチルテープ
(ガラスメーカー3社 全連続推奨品)

JIS表示工場 第581036号 (JIS・A・5758)

RISE サンライズメイセイ株式会社

本社工場 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電話 (0722) 44-7500(代)
静岡工場 〒437-14 静岡県小笠郡大東町国安字一本松24-16
電話 (0537) 72-5700(代)
関東営業所 〒221 横浜市神奈川区三枚町299番地5
電話 (045) 383-4651(代)
熊谷営業所 〒360 埼玉県熊谷市宮町2丁目132番地(林ビル)
電話 (0485) 25-1822(代)
名古屋営業所 〒465 名古屋市中区一社3丁目90番地(チサンビル202号)
電話 (052) 703-2061(代)
関西営業所 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電話 (0722) 44-7500(代)
広島営業所 〒733 広島市西区三篠町3丁目20番19号
電話 (082) 230-0019
九州営業所 〒811-32 福岡県宗像郡福岡町字長引3464番地(桜井ビル)
電話 (0940) 43-2254(代)

工業会 1 年の歩み

年 月	主 な で き ご と	関 連 業 界
2, 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年会開催。 特別講演：建設省官庁営繕部・工事検査官・梧原幸八郎氏「官公庁建築の現状と展望」。 ○ 「シーリングニュース」38号発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 官民共同研究新たに2テーマ「劣化診断」, 「制振構造技術」(建設省)
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理士検定講習会開催。 管理士：52名, 技術管理士100名受講。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建築学術用語集を改訂(日本建築学会)
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 来期理事候補を次の通り選出。 会長：横浜ゴム 副会長：昭石化工・サンスター技研以下理事12名, 会計監事3名を候補として承認。 ○ JIS・A-5758改正案を答申した。 ○ 管理士検定試験の結果, 管理士39名, 技術管理士81名を合格とした。 ○ 統計調査(H.1・10月～12月)の結果を発表。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「作業能率測定指針」をまとめる(日本建築学会) ○ 公共住宅建築工事共通仕様書, 積算基準を改訂(公共住宅事業者等連絡協議会) ○ 日本シーリング工事業協同組合連合会創立
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成2年度「参考標準設計単価」を発表した。 ○ 「シーリング」27号を発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材料施工本委員会委員長に小池迪夫氏(日本建築学会) ○ 新理事長に水上洋氏(東日本シーリング工事業協同組合)
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第27回通常総会を開催。提出全議案を承認した。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工業会親睦ゴルフ大会を開催した。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 統計調査(H2・1月～3月)の結果を発表した。 ○ 「シーリングニュース」39号を発行した。 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本シーリング工事業協同組合連合会と当工業会幹部の懇談会を開催し, 共通の問題を討議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ JIS規格体系, 建築関係430件の見直し調査開始(建材試験センター)
9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員名簿(平成2年)版を発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成果報告書「構造材料の安全性」, 「住宅性能」, 「省エネルギー用建材及び設備等」, 「建築材料等の耐久性」を公開(建材試験センター) ○ 日本建築学会大会開催(広島) ○ 愛知シーリング工事業協同組合が中部シーリング工事業協同組合に改称 ○ 「建築設備の劣化診断システムの開発」実施に委員会を設置(建設省) ○ 「歴史的建造物の保全・活用の実態調査」の結果を報告(建設省) ○ 「建築共通仕様書'90年版」発行(NTT) ○ 「中国シーリングディーラー会」発足
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ ASC国際会議に参加のため, 団長として平野副会長を, 論文発表者として広石技術副委員長を派遣, 有志12名が同行参加した。 ○ 「シーリングニュース」40号を発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設作業用ロボット導入促進税制(メカトロ税制)の機種証明制度スタート(建設省)
12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 顧問・相談役との懇談会を開催。 ASC国際会議の報告並びに1992年に日本で開催する国際会議への対応準備について懇談した。 ○ 統計調査(H2・7月～9月)の結果を発表。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 接着剤・シーラント国際会議の準備委員会を設立(日本接着剤工業会)

- 屋上防水工事
- 補修，改修工事
- シーリング工事
- ライニング工事

責任施工

- 防水及補修全般
結露防止・改修工事
- 赤外線建物診断
- 漏水現場診断・施工設計

広島県外壁補修工事業協同組合員
 日本シーリング工業事協同組合連合会会員
 全日アスファルト防水事業協同組合員
 日本樹脂施工協同組合員
 サンスター会会員
 リフリート工業会会員
 TVS赤外線建物診断研究会会員
 (広島県知事許可般-63第4809)

株式会社サンゼオン

〒733 広島市西区中広町3丁目17-16
 TEL 082-291-1631(代) FAX 082-291-1739



アーゴリールシリーズ

使いやすさと信頼性の調和 タイルメントの充てん剤

S-100
(シリコーン系)

S-200
(変成シリコーン系)

S-300
(ウレタン系)

S-500
(アクリル系)

S-700
(油性系)

S-101
(シリコーン系)

S-202LM
(変成シリコーン系)

S-303LM
(ウレタン系)

S-600
(ブチルゴム系)

アクリルコーク
ジャンボ
(アクリル系)



株式会社 三日月

本社 〒453 名古屋市東区宿務町1の58 TEL:052-412-5300r FAX:052-411-3516

■東京支店 ■大阪支店 ■名古屋支店 ■仙台営業所 ■福岡営業所 ■広島営業所 ■札幌出張所 ■横浜出張所 ■北陸出張所

1991年を展望する

広報委員会

概況

ひとところの新築ラッシュは薄らいだものの、建設業界は依然活況に沸いている。ゼネコン各社は向こう2ヶ年分の先取り受注を抱えて建設資材や下請け業者の確保に大わらわの状況である。企業の設備投資もピークを過ぎたものの高水準で推移しており、また政策的にも新設・改修を含め公共投資の増大が打ち出され本年の見通しも明るい。反面、労働需給の益々の逼迫と高齢化問題から、サブコンの受注活動にも息切れが感じられ、また原料、運送費の高騰による建築資材の値上げ、人件費の上昇など早期に対応を図らねば企業運営に重大な影響を及ぼす課題頻出している。防水・シーリング業界も例外ではなく、技能労働者の育成・地位向上、元請け・下請けの関係改善、労働生産性の向上と受注価格の見直し、そして増大が見込まれる改・補修需要へ向け、経営面、技術力の底上げ等、業界こぞっての取り組みが必要な時と言えるだろう。

建築着工動向

平成2年度の建設投資総額は、名目で77兆1300億円(前年度比5.7%増、以下同様)、実質68兆2400億円(同3.4%増)と、伸び率が鎮静化した同元年度の実質65兆700億円(同0.6%増)から持ち直し、これまでの最高額になると見通されている。このうち建設投資も50兆3000億円、7.1%増(実質4.6%増)、住

宅投資3.1%増、非住宅投資11.5%増と好調に推移すると見込まれる。また今後の見通しも、ここ数年の好景気が民間主導型であり、公定歩合の引き上げによる金利の上昇、長引く円安傾向など企業の設備投資の意欲を減退させる要素が懸念されるものの、公共投資が日米構造問題協議の結果、1991年以降の10年間で過去10年間の1.6倍にあたる430兆円の規模で行なわれることが決定するなど、急激な増大は見込めないものの、堅調に推移すると予測できる。一方着工動向では、昨年1～9月の総床面積は前年同期比で6.9%増、不燃建築については9.7%増を示した。新設住宅着工では、昭和63年度に分譲住宅が大幅に増加した一方で、持ち家および貸家が減少したことから若干減少したものの、平成元年度は前年度比0.6%増の167万戸と2年振りに増加し、平成2年度(4～9月)も91万戸(前年度同期比4.7%増)と一応のピークとみられていた昭和62年度に迫る勢いとなっている。また、鉱工業、商業、サービス業など非居住用建設は、一時ほどではないものの民間の設備投資の好調から、昨年も2桁台の伸びが見込まれる。本年については、前出のとおり公共投資の増加、加えて関西国際空港、東京湾横断道路、明石海峡大橋、横浜みなとみらい21など、本格化している各地の大型プロジェクトなどにより堅調に推移すると予想される。

シーリング材需要動向

昨年の建築用シーリング材全体の伸びは、一昨年同様10%前後と堅調で、出荷量で9万トンの大台を突破することが予想される。ここ数年の傾向通り、シリコン系、変成シリコン系、ポリサルファイド系、ポリウレタン系の各弾性基材、中でも1成分形

が好調で、乾式構法の一層の増加、合わせて労働者不足などから今後も伸長が予想される。

施工技術面では昨年3月、専門工事業団体の日本シーリング工事業団体連合会が発展的に解散、日本シーリング工事業協同組合連合会として創立され、同6月建設省建設振興課より正式に法人認可された。旧組織時代からの継続課題である(1)受注の永続的

表-1 建築用シーリング材の生産量の推移 通産省生活産業局窯業建材課調べ

(単位：トン)

年次 基 材	1986年	1987年	1988年	1989年				1990年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
シリコン系	10,293	11,401	13,002	15,742	3,871	3,567	3,929	4,374	4,239	4,190	4,544
1成分形	8,882	9,923	11,352	14,098	3,465	3,172	3,524	3,937	3,864	3,765	4,151
2成分形	1,411	1,478	1,650	1,644	406	395	405	438	375	425	393
変成シリコン系	5,122	7,133	9,574	12,625	2,861	2,965	3,164	3,634	3,254	3,610	3,999
1成分形	2,534	3,861	5,155	6,311	1,436	1,561	1,603	1,712	1,537	1,708	1,866
2成分形	2,588	3,272	4,418	6,314	1,425	1,405	1,562	1,923	1,717	1,902	2,133
ポリサルファイド系	9,604	9,873	11,309	11,696	2,894	2,684	2,912	3,206	2,858	2,973	3,189
アクリルウレタン系	610	660	780	770	180	200	240	150	100	80	70
ポリウレタン系	17,165	20,542	24,513	26,631	6,484	6,718	6,342	7,086	6,472	6,778	7,051
1成分形	4,111	4,910	6,036	7,052	1,682	1,807	1,745	1,818	1,529	1,724	1,775
2成分形	13,054	15,632	18,477	19,579	4,802	4,911	4,598	5,268	4,943	5,054	5,276
アクリル系	12,106	12,694	14,634	15,276	3,627	3,755	3,732	4,162	4,135	4,180	4,094
S B R系	60	52	46	39	10	9	9	11	6	0	0
ブチルゴム系	1,115	1,197	1,324	1,240	317	342	226	355	351	395	366
油性系	1,895	1,670	1,462	1,410	320	375	299	416	351	390	394
合 計	57,970	65,223	76,644	85,428	20,565	20,616	20,852	23,395	21,766	22,596	23,707

小数点以下は四捨五入。(JIS Z 8401 (1984)「数値の丸め方」に準拠) 従って各項目の合計は必ずしも合計値に一致しない。

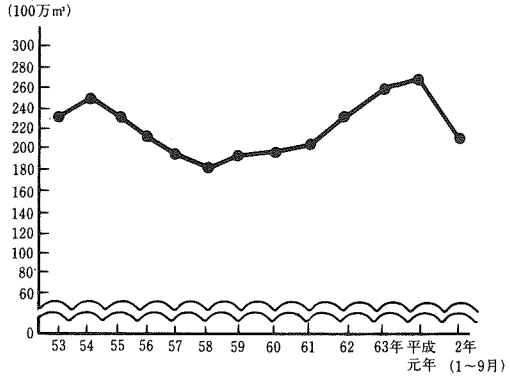
表-2 建設着工統計

※次頁に続く (単位：千㎡)

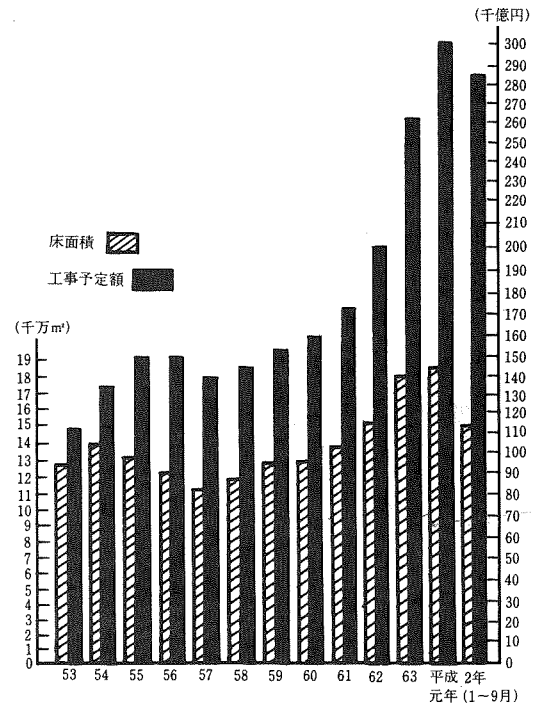
月 間 年 間	総 数 床 面 積	用 途 別 床 面 積							
		居住専用	居住産業 併 用	農林水産 業 用	鉱工業用	商業サー ビス業用	公益事業用	公務文教用	そ の 他
55 (対前年比)	221,722 (90.4)	109,807 (88.6)	22,468 (84.2)	7,665 (88.0)	22,688 (103.7)	29,735 (88.7)	5,337 (95.2)	23,919 (96.5)	104 (60.1)
56 (対前年比)	202,752 (91.4)	100,122 (91.4)	20,028 (89.1)	6,678 (87.1)	21,346 (94.1)	28,170 (94.7)	5,551 (104.0)	20,716 (86.6)	139 (133.7)
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60 (対前年比)	199,561 (101.7)	95,705 (103.1)	19,138 (100.3)	5,838 (95.6)	25,035 (97.9)	31,617 (101.5)	5,789 (129.3)	16,216 (97.0)	223 (90.7)
61 (対前年比)	207,682 (104.1)	102,858 (107.5)	19,864 (103.8)	5,809 (99.5)	21,248 (84.9)	35,600 (112.6)	5,396 (93.2)	16,736 (103.2)	172 (77.1)
62 (対前年比)	237,226 (114.2)	123,703 (120.3)	23,213 (116.9)	5,763 (99.2)	21,391 (100.7)	40,795 (114.6)	5,814 (107.7)	16,344 (97.7)	203 (118.4)
63 (対前年比)	255,783 (107.8)	127,064 (102.7)	24,216 (104.3)	5,477 (95.0)	29,901 (139.8)	45,404 (111.3)	6,894 (118.6)	16,574 (101.4)	252 (124.1)
平成元年 (対前年比)	269,212 (105.2)	128,687 (101.2)	23,731 (98.0)	5,489 (100.2)	37,189 (124.4)	49,549 (109.1)	8,059 (116.9)	16,167 (97.5)	342 (135.7)
" 2年第1四半期 (対前年同期比)	61,054 (106.4)	28,488 (102.3)	5,184 (99.5)	1,048 (96.4)	8,703 (114.1)	12,378 (111.3)	2,006 (125.7)	3,176 (111.6)	71 (173.4)
" 2年第2四半期 (対前年同期比)	76,762 (108.0)	37,265 (105.5)	6,399 (98.5)	1,379 (90.6)	10,805 (107.6)	13,920 (113.9)	3,045 (157.9)	3,827 (110.9)	122 (109.1)
" 2年第3四半期 (対前年同期比)	76,070 (106.2)	35,024 (104.7)	6,082 (97.4)	1,287 (91.9)	10,228 (104.4)	14,620 (116.1)	2,494 (105.4)	6,164 (108.8)	172 (193.1)

確保対策 (2)適性価格ならびに公正な競争秩序の確立と維持 (3)シーリング防水独自のリフォームおよびメンテナンスシステムの確立 (4)後継者・若年技能者の確保および養成——など建設業におけるシーリング工事の特殊性と需要量拡大、また将来への企業力の充実、近代経営を目指しての運営基盤の確立が期待される。また当工業会も昨年8月同協組と、両組織の執行部による第一回幹部懇談会を開催し、業界共通問題等に対する意見交換を行なった。主に昨今の労働者不足問題、管理士制度の普及、シーリング材の色名統一などについての意見が交換され、今度も年2回程度、両組織の持ち回り主催で開催される方針。技術・市況面に関する業界内問題の解決へ

向け、材・工一体の取り組みが期待される。

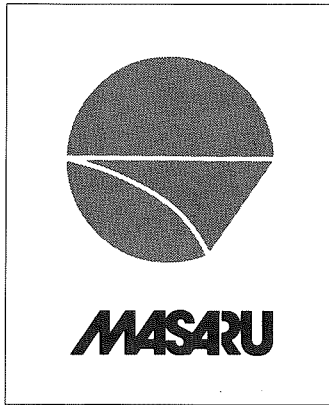


図一 建築着工面積 (総床面積)



図二 不燃建築着工総計

公 共	建 築 主 別 床 面 積		構 造 別 床 面 積						
	民 間		木 造	不燃建築物 小 計	不 燃 建 築 物				
	会社・法人	個 人			鉄骨・鉄筋 コンクリート造	鉄 筋 コンクリート造	鉄 骨 造	コンクリート ブロック造	そ の 他
32,842 (95.6)	76,761 (95.6)	112,123 (85.5)	90,304 (86.1)	131,415 (93.6)	18,381 (100.3)	49,168 (90.9)	62,644 (94.0)	989 (89.9)	233 (81.8)
31,268 (95.2)	67,911 (88.5)	103,574 (92.4)	80,304 (88.9)	122,445 (93.2)	17,508 (95.3)	45,376 (92.3)	58,423 (93.3)	876 (88.6)	269 (115.5)
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.9)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)
20,464 (92.7)	78,192 (104.1)	100,907 (102.0)	70,503 (99.3)	129,060 (103.1)	17,747 (108.8)	42,576 (101.8)	67,918 (102.8)	527 (85.3)	293 (82.5)
20,527 (100.3)	79,606 (101.8)	107,549 (106.6)	73,679 (104.5)	134,003 (103.8)	20,316 (114.5)	44,339 (104.2)	68,520 (100.9)	515 (97.5)	314 (107.2)
21,040 (102.5)	89,768 (112.8)	126,419 (117.5)	85,081 (115.5)	152,146 (113.5)	23,168 (114.0)	52,057 (117.4)	76,087 (111.0)	498 (96.7)	336 (107.1)
21,658 (102.9)	109,472 (121.9)	124,601 (98.6)	82,724 (97.2)	173,056 (113.7)	26,547 (114.6)	55,104 (105.8)	90,580 (119.0)	481 (96.6)	342 (101.8)
21,194 (97.9)	124,216 (113.5)	123,800 (99.4)	85,095 (102.9)	184,115 (106.4)	28,240 (106.4)	52,384 (95.1)	102,642 (113.3)	461 (95.8)	388 (115.5)
4,293 (109.0)	30,832 (116.2)	25,929 (96.3)	18,085 (98.7)	42,969 (110.0)	7,535 (118.9)	11,640 (105.6)	23,674 (110.0)	59 (79.4)	61 (56.3)
4,771 (99.8)	37,118 (117.7)	34,803 (100.2)	24,925 (103.5)	51,838 (110.2)	7,997 (113.9)	15,441 (118.5)	28,231 (105.5)	93 (68.4)	76 (83.2)
7,373 (109.1)	37,877 (117.6)	30,820 (94.4)	22,243 (100.2)	53,827 (109.0)	8,909 (137.8)	15,934 (106.6)	28,728 (103.6)	135 (86.7)	121 (136.8)



建物の呼吸を感じて、
最新テクノロジーを求めつづけたい。
シーリング防水工事
外装の調査・診断
塗り床工事・改修工事一式

MASARU
株式会社 マサル
〒135 東京都江東区佐賀1丁目9番14号
TEL.03-3643-5911(代表) FAX.03-3630-3279
横浜営業所
〒221 横浜市神奈川区鶴屋町1丁目7番21号
TEL.045-322-5651 FAX.045-323-5107



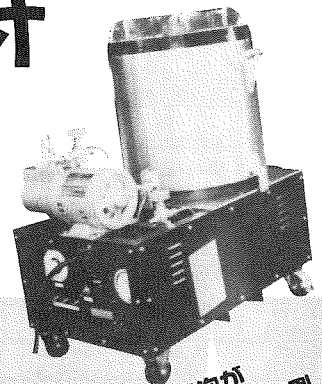
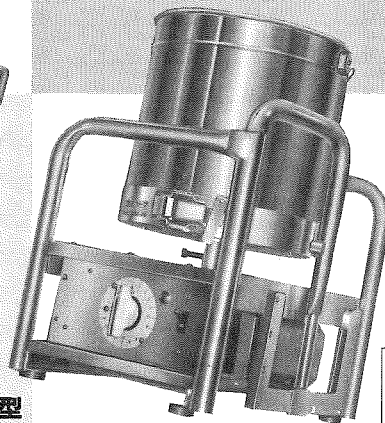
☆ポピュラー商品
耐久性のあるA型



超軽量の軽量型
重さ11.5kg !!

シーリング材の発展と共に歩む31年 ミキスタリオ

☆目玉商品 !!



混合と脱泡が
同時にできる250型

シーリングの発展と共に歩む

ミキスタ工業株式会社
〒103 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7
電話 03-3669-9471 (代)

俳句

親鸞ゆかりの寺

加藤正守

西念寺

秋雨や見返橋は地に埋る

大覚寺

法難の寺ふところに山粧ふ

説法の石に宿りし草紅葉



建暦元年、越後での流罪をとかれた親鸞聖人は、稲田の領主稲田九郎頼重の招きにより、この地に草庵を結んだ。これが西念寺の開基である。以後20年間、関東、東北地方の布教につとめ、浄土真宗の聖典である「教行信証」をこの地で完成させた。

鬱蒼とした杉木立の参道を行くと室町期の建造といわれている茅葺きの櫓門がある。境内には、御杖杉、親鸞の見返り橋、辯円の回心の桜などの聖人ゆかりの旧跡がある。御杖杉は、衆生化益の願により聖人がついていた杖を立てたところ芽生えて育ったといわれている大木であったが、その後焼けたり、台風で折れたりして今は切株のみの遺木である。見返り橋は、貞永元年、親鸞は20年間住まわれた稲田の地を立たれ、御帰洛の際、正室玉日姫（恵信尼）との別れ惜しみ、しばし佇まわれた橋であるが、今は境内に移され地に埋れている。

別れじのさのみなげくな法の友

また会う国のありと思えば 親鸞

山伏辯円は、聖人の名声を妬んで、法難を加えんと調伏呪詛の護摩を焚いたり、乱暴を働いたりした

が、ついに聖人の徳に打たれて懺悔して弟子入りし、名を明法房にかえて熱心な信者になったといわれている。その回心（懺悔）の桜が残されている。

大覚寺は、聖人法難の寺として知られ、山粧う板敷山の麓にある。開山は、聖人の法弟、後鳥羽上皇の第3子の正懐親王で、剃髪して同観大覚となった。

山門の右側に説法石がある。聖人がこの石に立って説法を行ったといわれているもので、草紅葉が宿っている。説法石を覆うように草紅葉の天蓋樹が茂っている。入口近くに一茶の句碑がある。

秋の夜や祖師もかやうな石枕

一茶

ここを訪れた一茶が石を枕に夜をあかし、聖人を偲んだものと思われる。奥には、京都の天龍寺庭園を模し、さらに桂離宮の作法をとり入れた日本庭園があり、裏見無しの庭といわれている。

板敷山には、辯円の護摩壇跡があるが、真偽のほどは分からない。

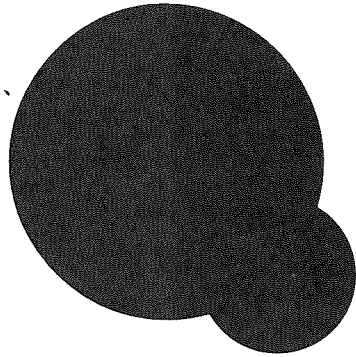
(千葉大学建築学科助教授)

未来へ、いい仕事。

躍動する時代変化にこたえて

未来を展望する経営理念を確立し、
企業イメージを一新します。

防水・シーリングの専門会社として歩んできた
20年間の実績を踏まえて、さらに新しい挑戦を
始めます。お客様のご満足を目標に誠心誠意の
営業姿勢と高い技術水準を両輪として、社会の
お役に立てるよう、CIを導入。内容の充実をめ
ざしてまず企業イメージの刷新から始めます。



●新しいRIKENの仕事の領域

[基本領域]

- 防水・シーリングの仕事
- 建築工事分野の仕事

[展開領域]

- 快適なオフィス環境をつくる仕事

[未来領域]

- 美しく快適なオフィスをつくる仕事
- 美しく快適な住まいをつくる仕事
- 美しく快適な街をつくる仕事
- 人々の快適な毎日と充実した人生を応援する仕事

Riken

未来へ、いい仕事...

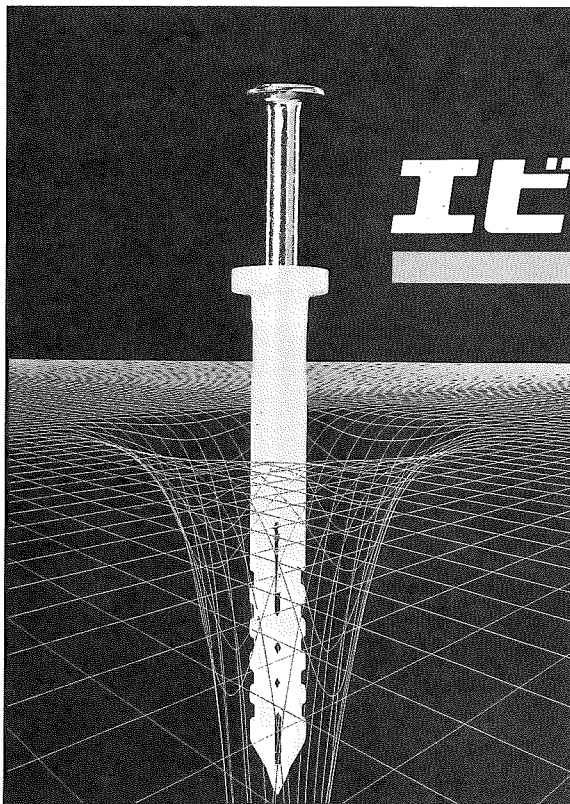
理建工業株式会社

建設大臣許可(般-63) 第9923号

一級建築士事務所東京都知事登録 第20035号

●本社:130東京都墨田区太平4丁目22番4号 PHONE(03)3622-4081代表

●横浜営業所:220横浜市西区岡野2丁目15番8号 PHONE(045)313-1371代表



打ち込んで
ガッチリ固定。



エビネイル7.7

NP5-35/6

スチール釘	NP4-25/5	ステンレス釘 (SUS×M7)	SNP4-25/5
	NP5-35/6		SNP5-35/6
	NP5-50/20		SNP5-50/20
	NP6-35/6		SNP6-35/6
	NP6-50/20		SNP6-50/20

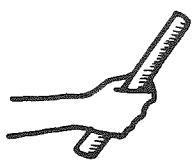
防水シート・水切材施工に最適!!

ウェーブ溝で首下スリムな特殊ナイロン
スリーブは打ち込みやすく保持力強固。

日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎(0729)62-1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎(03)3550-3671(代)

営業所	名古屋	☎(052)915-0431(代)	高松	☎(0878)61-6110
	札幌	☎(011)251-5721	広島	☎(082)292-4422(代)
	仙台	☎(022)284-5602	福岡	☎(092)431-0395(代)
	厚木	☎(0462)22-7631		



リレー随筆

その6

思い出の 山岳写真

児玉暢夫



先日、工業会事務局から電話が有り「リレー随筆」の掲載予定の方が海外出張の為、原稿が書けないので急遽私の方に依頼があり、引き受ける事となったが、原稿の締切まで数日しかなく、実際に書く段になると心の準備もなく何を書いたらよいか戸惑ったが、たまたま先日「即位の礼」の関係で久々の三連休となり、我が家の二階天井裏の収納庫を整理していた

ところ、学生の頃に撮った懐かしい山の写真が出てきたが、この思い出深い山岳写真も、今夏の猛暑で写真の表面はべとつき、ブローキングをおこし壊滅状態であった。この写真を見ながら整理していると当時よく山に登り山の写真撮りに熱中していた日々の記憶が蘇ってきた。

当時を思いおこすと都会育ちの男が自然の環境に飢えていたのか

高校時代から近郊の山に登ったり、キャンプによくいっていた。山の良さは山に登るにしたがって、自然の風景が多彩に変化すると四季によって景観も地上では味わえない景色であり、又、夏に標高が3000m近い山に登ると地上と20度前後の温度差があり、地上での距離では九州から北海道の北端まで旅行したのに匹敵するが、なんといっても山の一番の良さは頂上を極めたときの絶景である。

最初は関東近郊の山に行き新宿駅から山岳夜行電車を出発し、丹沢大倉尾根から塔ノ岳や、大衆文学の先駆者と言われた中里介山の長編小説で有名な大菩薩峠から奥多摩側に下りるルートや、富士山を観るには一番の展望台といわれ



ている三ツ峠等は、何回か登った山である。

写真の趣味に取りつかれたのは基をただせば秋も深まった頃、登った三ツ峠。頂上から雪を頂いた富士山を望み、富士の雄姿と八ヶ岳連峰、北アルプス南アルプスなどの大パノラマの絶景に感激し、山岳写真の虜になったのがきっかけである様に記憶している。

その後山登りと写真の趣味は、次第にエスカレートしていった。心理学者のマズローの欲望論ではないが、「人間の欲求は自己実現の欲求があり、初めは低次元の欲求から次第に高次元のものへと段階的にエスカレートして行く」と言われているが、山登りも、関東近郊の山から次第に遠距離で標高のある八ヶ岳、北アルプスを縦走し、山頂からパノラマ写真を撮る様になり、又撮った写真を自分で現像、引伸しするようになり趣味もエスカレートしていったのである。

当時はモノクロ写真が全盛の時代で、モノクロ写真のよさは「白と黒」の色彩の配分によって写真の感じが違い、焼き方を調整し引き伸しすることによって、より満足した写真が出来るが、最初は撮



った写真をDP店に出していたが、その後写真の見方も進歩した為かDP店では機械的に焼付、引伸しする為、自分で満足出来る写真を作ろうと思いこの時から何んとか引伸機と附属品一式を揃える決心をしたのである。

しかし決心をしたのはよいが、学生であり引伸機など高価で買える代物ではなく、より稼ぎの良いアルバイトをして購入資金の捻出を考えた。当時は丁度小生の2つ年上の兄貴が後樂園スタジアムでアルバイトをしていた関係から兄貴の口利きで後樂園球場でビール、ジュース類を販売する仲売りのアルバイトをすることになった。その面倒みのよい兄貴も五年前他界した。

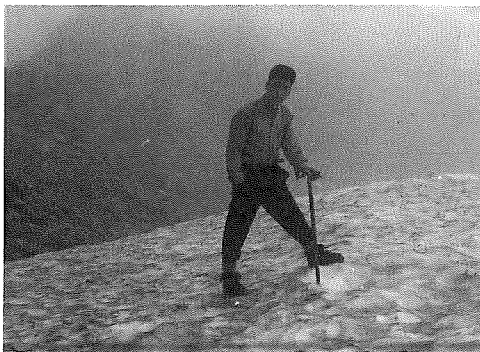
仲売りは歩合制で売上げを上げ

なければ手取り資金も増えないシステムで、非常に疲れる仕事でもあったが、目的を達成するには欲も出、売上アップに敢然と挑戦した。しかも仲売りは山登りする人には球場の階段を昇り下りするので、足腰のトレーニングにもなり、又小生は大の巨人ファンでもあり、当時は長島選手の全盛時代で、時には野球を見物しながら稼げるなんて一挙両得であった。

野球のシーズンが終る頃には、頑張ったお陰で当初の計画より速く軍資金も貯り、年末にはいよいよ念願の引伸機を手に入れたのである。

いよいよ本格的に引伸作業を始めたが最初考えていたほど簡単ではなかった。

最初は室内をカーテンで覆い、いわゆるお座敷暗室で始めたが当時は住宅事情も悪く、家が皆狭い為、家族がお座敷暗室に出入りするので印画紙が感光シカブリ現象が出るので、こんどは自分で押入れを改造して暗室を作ったがこれも思わぬ問題が出た。押入暗室は狭い為、引伸機内のランプからの放熱により、現像液、定着液の温度が上昇して引伸の適正な露光秒



数がつかめず、焼付した印画紙を現像→停止液→定着液の順で処理していくが出来上がった写真は濃すぎたり、薄すぎたり綺麗に仕上げるまでには予想以上に時間を費やした。

その後何日か経過しているうちに基本をマスター出来、引伸し方法等も応用出来る様になりネガの色調によって印画紙を選定し（印画紙2号軟調→4号硬調）覆焼、リミング等の操作技術もマスターしたのである。

今回写真を整理していて、特に印象深い記憶が残っている山は友人四人で北アルプスの針ノ木岳から針ノ木峠を経て連華岳、烏帽子岳コースを縦走する予定で登った

が、2日目連華岳周辺の岩稜線で休憩し、水を飲もうとした時に、背負ってきた荷物が稜線から谷に落下してしまい運よく100m程落下した地点で這松にひっかかって止まったが、荷物の中には四人で三日分の食糧が入っており、何とか苦戦の結果、荷物は回収したが、ガレ場を下りる時に足の筋を痛め、歩行困難と見て、一日分の食糧を持って一人で下山し、昔、葛の根を求めていた村人に高瀬川上流で発見された温泉なので葛温泉と名づけられたと言われている葛温泉に宿泊したが、この時は予定していた山の写真はほとんど撮れず、その後も再度挑戦する機会もなくまぼろしの山となり非常に残念な

記憶が残っている。

その他にも信仰の山として知られている立山連峰を縦走する予定で立山に登ったが、雨と濃霧で動けず室堂山荘で泊って待機していたが天候が回復せず、已むなく下山した記憶も蘇えてきた。

現在は趣味と言えばゴルフぐらいしかなく、これからの老後の為にも何か趣味を持たなくてはと改めて考えさせられた一日であった。

次は世界長(株)浜田氏にバトンをタッチいたします。

(日本シーリング工業会 調査委員長、コニシ(株)ボンド建設部ボンド第3営業部々長)

ビルを駆ける フォータイト (熱線反射ガラス映像調整バックアップ材)

シーリング材

シリコン1液2液 変成シリコン
ポリサルファイド
ウレタン1液2液
アクリル プチル 油性

バックアップ材

角型 丸棒 超硬質 特殊形状
ゴムグレイジングロープ
マスキングテープ
他副資材

物流機能更に充実

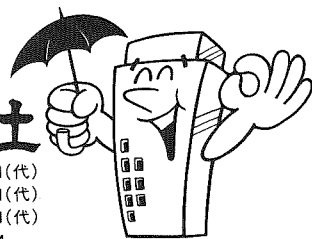
- ★防水吹付材・エポキシ注入材
- ★エポキシライニング材・防水塗床材
- ★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入



フヨー株式会社

本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel.03(3626)3371(代)
大阪支店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel. 06(395)0201(代)
仙台営業所/〒982仙台市太白区富沢3-28-30 Tel.022(244)4911(代)
横浜営業所/〒248横浜市保土谷区東川島町62-1 Tel.045(373)7234



住宅寿命の国際感覚

——十年単位と百年単位——

辰巳 正則



大倉山の小丘陵の上にある一連の3階建低層マンション群は、今から約20年前、オイルショックの少し前に設計・建設されたお陰でそこに使用されている素材・建材類は十分に吟味され又手抜きなく工事されており、完工当時は一寸した話題の新住宅であったと記憶しています。この住宅地区では、より良い住宅環境を保持するために居住者達がコミュニティという会合を作って“緑と静寂”をスローガンとして住宅環境の整備に努力しています。都心からやや離れているお陰で比較的公害汚染は少ない地区と考えてはいるものの、築後20年近く経過しますと建物全体が何となく薄汚れた様なくすんだ感じとなってきており、コミュ

ニティーの決議により全外装を白モルタル吹付け塗装で化粧直しをして再度白亜の外観に生まれ変わりました。この築後20年の改装の時に話題となったことは、次の20年目即ち築後40年頃には建物全体を再見直しすべきかどうかということであり、土地の付加価値の問題とか或いは使用上の便利性的の問題などを含めた総合的判断であったとしても40~50年が一般的にみた住宅のライフサイクルかとも感じられました。

私はずっと以前に築後約50年位の木造式日本家屋に住んでいたことがあります。風の強い日には戸締まりを全部していても部屋の中を風が通り抜ける様な感じがあり、寒い日などは戸仕舞いの悪さとか目地の甘さが身にしみたものでした。その後まもなく築後約50年のその木造住宅は取りこわされており、一般的にみて快適に使用できる日本の住宅寿命は50年前後かと考えられました。

私は今から約15年程前に家族と子ども英国に住むことになり、ロンドン郊外で庭付きの一戸建住宅を物色して廻ったことがあります。

日本以外の多くの国がそうである様にロンドン郊外にも売家・貸家の物件は多くあり、色々と家探しを楽しみました。その中の1つに外観等が気に入ったものがあり、売主さんと会って聞いた時の話で最初に驚いたことはその家のセールスポイントとして第一に言われたことが、“この家は築後30年、新品同様”ということでした。先に述べました様に私の感覚では住宅寿命は良い所40~50年と考えていましたから、“築後30年、新品同様”という英国風的表現には全く驚きました。その後色々売家を見て廻っても似た様な表現が多くあり彼等の標準的住宅寿命はどれ位かと疑問を持ちました。ロンドンから少し離れた地方の旧家風の住宅になるとその寿命感覚は更に飛躍します。ある時、英国の西南部コーンワーオールズ地区を旅して石造りのどっしりした旧家に一泊させてもらいその住人に聞いた所では、「自分のこの家は築後まだ200年しか経っていない。隣の家は300年を越えていて、とても羨ましい」と聞いて又びっくりしました。その様な古い家は窓も小さいし、

さぞ暮らしにくいのではないかと
 思いましたが、家の内装はしばしば
 取替えており生活感覚は大変モ
 ダンでありますから、彼らが建物
 特に建物の外装には絶対の信頼と
 誇りを持っていることが良く分か
 りました。英国国民が大変コンサ
 バティブであることは良く知られ
 ています、それは良いものはい
 つまでも大切にすることです
 あり“良い家が長持ちするのは当

り前”という事であります。

米国における住宅寿命の感覚は
 又異なったものでありますが、今
 回は紙面の都合上省略させてもら
 います。私達住宅材料を提供する
 者にとって、特に住宅寿命に非常
 に重要な機能となりますシーラン
 ト材料を提供する立場からみま
 すと、シーラント材としての各種性
 能の改良向上も必要ではありま
 すが、その中でも重要なことは

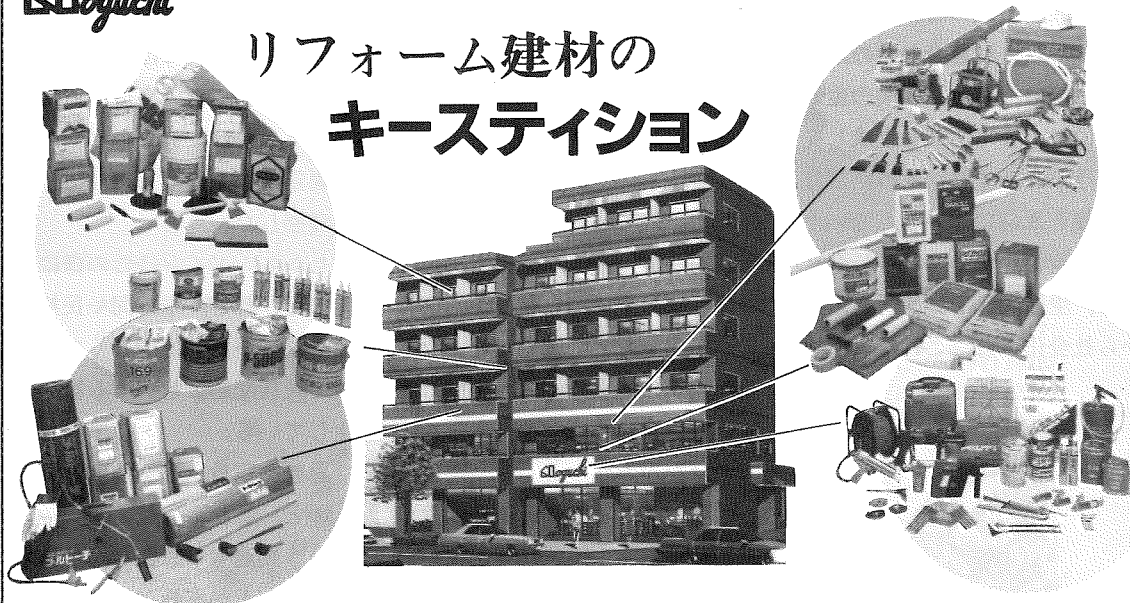
50~100年の単位に耐え得る長期
 安定な材料の提供が最も大切では
 ないかと考えます。幸いにして(当
 社の)ポリサルファイド系シーラ
 ントは50年(~100年)の使用実績
 に裏づけされたものであり、住宅
 寿命の国際感覚のずれを無くすた
 めに少しでも貢献できれば幸せと
 考えております。

(東レチオコール(株)代表取締役社
 長)

Loguchi

リフォーム建材の キースティション

★お客様のニーズにお答えします。



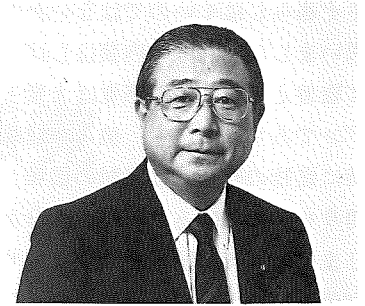
野口興産株式会社

〒176 東京都練馬区豊玉北2-16-1
 TEL. 03(3994)5601 FAX. 03(3994)1091

横浜営業所 〒220 神奈川県横浜市西区戸部町7-220
 TEL. 045(324)2320(代)
 配送センター 〒176 東京都練馬区豊玉北2-10-8
 TEL. 03(3994)5614
 ㈱ビルドッグ TEL. 03(3994)4341

年頭所感

古田 武



新しい年が明けた。
一年のたつのが何と早いことか。正月がすぎ雨の多い春、長い記録やぶりの夏、秋が短く冬。光陰矢の如しといい、年を取るほど、日のたつのが早くなるといわれるが一年があつという間に過ぎてしまった。

しかし、昨年一年はずいぶん多くのことがあった。

一番、私がびっくりしたのは西独による東独の吸収である。終戦後、間もない時に学生時代を送った私にとっては資本主義の次は社会主義、共産主義の時代が来ると学んでいたし、私自身の頭の進歩も止まっていたため、人間の生命などと同じく資本主義も生成し発展し没落するとすれば次の制度は社会主義と単純に思いこんでいた。

又、生産力が大きくなり社会化すれば、生産関係も私的所有の関係から社会化され、これによって

生産力の飛躍的増大が可能となる
と学んで来た。

こんな事をいうと何と幼稚なことをいうと笑われるのが「おち」ではあるが、私達の年代で習ったことからいえば、社会制度としてより進歩的な筈の東独が西独を吸収することはあっても、その逆は無い筈であった。

又、増大していく生産力は私的な所有関係ではその拡大のさまたげとなり、社会化することによって生産力が飛躍的に伸びる筈であったのが、社会主義の東独が西独に比べて極めて低い生産性となりこれが吸収される原因となったというのも、学生時代に学んでいたのと全く逆の結果となった。

社会主義の本家のソ連でも市場原理の導入といているが、社会主義的な計画経済から市場経済への移行は、全体的な統制から個々人が市場を考えて働くこととなり個々人が市場を考えるためには私有化がいずれ不可欠のものとなるのではなからうか？

学生時代から40年近くの年月が過ぎたが、学生時代に学んでいたことと全く逆の結果となり正直びっくりした。

私の初めての東独訪問は、昭和40年だったが、当時はブルンデン

ブルグ門やベルリンの壁に近づくと射殺されそうでおそろしく近寄り難かった。

何と今日では、壁の一部をはかしてその一片一片が土産物として売られているというのも夢の様な話である。

昭和40年当時、私の様な者の目では、気の毒な話だけど西独と東独の統合なんて今世紀中には二度と行われなだろうと思ひ、同じ民族が別々の国家となり国家という名のもとに争いを起こし、民衆の素朴な統合の願ひなどはかないものだと思っていた。

何と25年の後には、再統合が実現した。めでたい事であるが、私自身としては、自分の判断が如何に固定的概念にとらわれていたかを痛感した。

しかし、ドイツはこの様に統合出来たけれど、未だ同一民族が分断されている国は少なくなく、各地で民族問題に起因する紛争が発生している。

思想や宗教、社会制度といったものと、これらを越えた同一民族という問題も不思議な話である。

思想だとか宗教だとかは人間が作ったものであり、宗教の如く神様から与えられたものであったとしても、所詮人間流に解釈したも



のに人間がしばられ振り廻されている。

宗教による戦争など悲しい話だけれど、資本主義対社会主義といった対立がいつの間にか東西ドイツを統合出来る迄に絶対的なものでなくなったと同様に、宗教も融和される時代が早く来てほしいと思う。

いつの世でも悲しい思いをするのは無力の一般民衆であるからである。

しかし、資本主義対社会主義の本家であった米ソの融和が行われ

て来る様になると、又、経済的要因で表面にかかげた別の紛争が頭をもたげて来る。

戦前のつまり半世紀程以前は経済問題、政治問題が正面に出ていた戦争や紛争が多かった。

しかし戦後は、資本主義と社会主義といった主義主張の異なる国の間での争いが中心となり、又、宗教的立場が異なる国々の争いが多かった。

米ソの二極の対立が少なくなり、イラン・イラク戦争の如き宗教上の戦争が下火になると、やっと平

和な世の中になるのかと思ったのもつかの間で、イラクによるクウェートの侵攻という新しいタイプの争いが発生した。

ずいぶん科学的には進歩したが、無力の民衆が悲しまないで済む社会の建設は、まだまだ先の話なのだろうか？しかし、東西両ドイツの統合、欧州の統合といった新しい国家概念の成立は、新しい社会建設に向って一步一步前進しているのではないかと思う。

(鐘淵化学工業(株)専務取締役)

確かな信用をお届けする

なにわ会

建築用シーリング材・防水材・関連製品のご用命は
信頼に応える当会メンバーにお申しつけ下さい

大阪御国商事(株)	〒567 茨木市横江2-1-12	TEL 0726(34)8214
小川商事(株)	〒604 京都市中京区竹屋町通釜座東入	TEL 075(231)4171
鐘工業(株)	〒534 大阪市都島区高倉町1-11-12	TEL 06(921)4231
岸田資材工業(株)	〒652 神戸市兵庫区中道通5-1-13	TEL 078(575)2953
(株)旭栄	〒530 大阪市北区天神橋1-1-1	TEL 06(354)0356
コニシ技研(株)	〒542 大阪市中央区心斎橋1-8-18	TEL 06(245)8851
(株)ジャビコ大阪支社	〒530 大阪市北区梅田2-4-9(サンケイビル8F)	TEL 06(345)6871
日東工材(株)	〒553 大阪市福島区吉野1-14-2	TEL 06(445)7621
(株)フジキ	〒530 大阪市北区天神橋1-1-1	TEL 06(352)1571
フヨー(株)大阪支店	〒532 大阪市淀川区宮原5-6-10	TEL 06(395)0201
(株)前田精市商店	〒541 大阪市中央区道修町1-4-14	TEL 06(203)4641
(株)宮崎	〒541 大阪市中央区平野町3-4-9	TEL 06(231)5891
モリシタ化学産業(株)	〒543 大阪市天王寺区勝山1-6-7	TEL 06(771)3929
ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	〒550 大阪市西区京町堀1-17-16スミトールビル7F	TEL 06(446)6701

会員会社紹介(13)

総務委員会

東芝シリコーン株式会社

当社は、日本でいち早くシリコーンの有用性・可能性を見出した株式会社東芝と、シリコーン事業のパイオニアである米国のゼネラルエレクトリック社(GE)との合併会社として1971年に設立されました。

1974年には群馬県太田市に研究開発及び生産の拠点として太田事業所を開設。また、ユーザーの皆様に迅速かつ的確に対応するため全国主要都市の12ヵ所に支店・営業所を設けております。

シリコーンは耐熱性・耐寒性・電気絶縁性・耐候性など種々の特徴をもつユニークな素材で、建築を始め自動車・エレクトロニクス・医療・繊維・食品・化粧品等、私達の生活に不可欠なものとなっています。

当工業会に対する窓口である建材部門では、一般用、低、中、高モジュラス・防カビ・超透明・難燃・流動・マスチック型等各種タイプの建築用シリコーン材、ならびに、浸透型撥水剤(商品名:トスバリア)や塗膜型防水剤(商品名:トスコート)さらには、耐火気密充填シール材(商品名:トスフォーム)等の製品を揃えております。

又、シーリング材に関しては、1981年にJIS表示許可を取得しさらに信頼される商品づくりに努力しています。

1991年に創立20周年を迎える当社では①顧客第一に徹する②品質を最重点とする③新世代商品の開発に努める——の三つの基本理念を掲げ企業革新運動を展開しています。

さらに、1991年秋には、静岡県小山町に応用技術センター(仮称)を設立し、応用技術の開発強化を計るべく準備をしつつあります。

今後、ますます高度化、複雑化していく社会へ貢献できるよう全社一丸となって努力する所存ですので、より一層のお引立てをお願いいたします。



日 東 電 工 株

『ユーザーのニーズにお応えして日東電工は製品づくりをすすめています』

「ひとつの製品開発を、さらに新しい製品の開発に結びつけていくことで、ユーザーのニーズにお応えする」研究開発におけるこの基本スタンスが、4,000種以上もの工業材料を世の中にお届けしている当社の開発コンセプトになっています。

電気絶縁ワニスの製造に始まって70余年当社の防水・シーリング材料は、水密気密と接着技術の出会い（1963年）からスタートしています。1965年、粘着つきゴムシートでビルの屋上を防水する「ニトルーフ」を上市した。この自着層つき防水シートは、下地のムーブメントを自着層のクリープにより緩和し、かつ作業性が良いことから業界に急速に浸透し“ニトルーフ”という名称が全国に知られるようになった。1968年、素材に耐候性の良いEPDMを取り入れ、自着層つきブチル・EPDMブレンドの加硫シートに変更し、防水シート開発の基盤を確立した。

1975年EPDMゴムを発泡させ、片面に粘着材を付けて作業性を向

上させた「エプトシーラー」を上市した。当時土木分野でユニット工法が始まったばかりで特にU字溝用として全国で施工されるようになった。

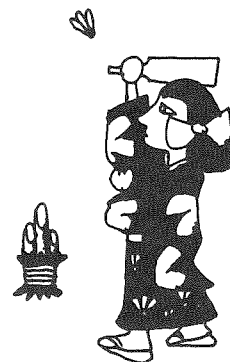
さらに業界のトップを切ってEPDMの連続気泡体を開発し、使用前は連続気泡の柔らかさを示し、一旦組み込まれると独立気泡並みのシール特性を発揮する「エプトシーラーNo.685シリーズ」を発売した。自動車シール用など耐熱・耐候性を要求される各種産業機器の水密・気密に幅広く使用され、定形シール材の新しい分野を切り拓いた。

1978年、建築液体シーリング分野に進出し、当時のアクリルシーリングに新しい概念を持ち込みました。ここにその開発ポリシーの一端をご紹介します。

アクリル樹脂をご承知のとおり耐候性耐熱性にすぐれた樹脂であるにもかかわらず、シーリング性能としては下位にランクされている。その理由は、現場施工を容易にするため水系エマルジョン状態にしており硬化剤も配合されていない。当社開発マンは次の様な仮説を立てた。「本来のアクリルの良さを引き出すために、水：溶剤は使わない“反応硬化タイプ”に仕上げれば最適のシーリング材を世に送り出せるのでは？」。しかしそこで問題となるのは硬化形式をいかにするか？いかなる形態のアクリル低分子量体を合成するか？などの選択であった。たしかにアクリル樹脂の低分子量体を常法に基づく方法で合成しても、伸び率、

復元性などの特性を満足させることができず、試行錯誤を繰り返したが、努力の結果両末端に水酸基を有したアクリルポリオールを独自の技術で合成することができた。また硬化形式は、過酸化鉛などは使わないで摩擦性にすぐれたウレタンプレポリマーを選択した。さらに現場施工テストを何回もくり返し、ようやく弾性シーリング材として自信をもって世に送り出せるものを得た。名称を「ニトシールA・2000」とした。以来1979年、JIS A 5757の一般に合格し、経年チェックにおいても良好な性状を示しており、中高層ビルの外壁シーリングに新しい分類の商品を投入出来たことで当初の目標は達せられた。

このように当社の製品開発は「新製品」、「新需要」、「新用途」の開拓から成り立っており、常にカスタマーの要求に懸命にお応えし4,000種以上の工業材料を生み出してまいりました。これからも高分子化学をベースに、電気、物理、生物、医学、環境工学などの領域を融合させることで、次世代機能性材料をお届けして、社会に貢献することを理念としています。





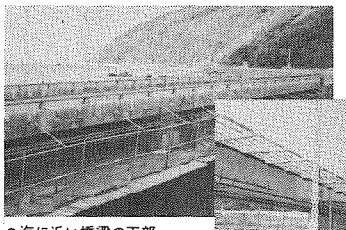
ベストテムはボンド工法の
新しいシンボルです。

水よとまれ。
橋脚コンクリートの保護対策に。
塩化イオンよとまれ。

シラン系の浸透性吸水防止材

ボンド水・ストopp

塩害による損傷



●海に近い橋梁の下部

中性化による損傷



●高欄壁や床版の損傷

アルカリ骨材反応による損傷



●橋脚の損傷

コニシ株式会社 ボンド建設部

本社/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541 TEL06-228-2963 FAX06-228-2927 名古屋支店 TEL052-262-8173
東京支店/東京都台東区台東4-28-11(第一勧銀汐沢ビル) 〒110 TEL03-5688-2281 FAX03-5688-2299 福岡支店 TEL092-551-1761
札幌支店 TEL011-612-0211 金沢営業所 TEL0762-23-1565 静岡営業所 TEL0542-55-5131 岡山営業所 TEL0862-25-1961
仙台支店 TEL022-235-3178 北関東支店 TEL0273-24-3002 高松営業所 TEL0878-35-2020 中・四国支店 TEL082-294-8811

ASC国際会議への参加 および関係機関訪問 ツアーを終えて

団長：昭石化工
平野英作

10月28日から開催される“1990
接着剤・シーラント国際会議”への参加を主目的とした我々一行14
のツアーは、同日11時発の全日
空ワシントン直行便に搭乗し、10
時間40分の飛行による時差との闘
いから始まった。

今回の米国視察旅行の概要（日
程および参加メンバー）は、既に
シーリングニュース40号に紹介さ
れているので、各詳細については
執筆担当者に委ねることとし、全
容について報告する。

○ASC国際会議

10月28日から開催されたASC
国際会議は、参加者18ヶ国約600名
という盛会の中で10月31日無事閉
会した。工業会は日欧米3地域か
らの“建設部門”での発表に臨ん
だが、欧米の発表内容が通説の域
を出なかったのに対し、我々の発
表は技術委員会を中心とした入念
な準備と広石副委員長の巧みな話
術によって際立った感があり、わ

が国の技術水準の高さと工業会の
実力を遺憾無く世界に示し得たと
確信しているが自画自賛であろう
か。ただ、欧米の発表内容には接
着剤が含まれていた事もあって、
環境汚染に対する溶剤規制につい
て大きく触れていたことが印象と
して強く残った。

その他、親善交流の場では、我々
の提案による日接工も含めた全員
の3本締めが満場の参加者を魅了
し得たと言う付録まで付いた。

いずれにしても、この大会は
ASCの常任4名計11名のスタッ
フの懸命の準備作業によって成功
し得たとの事であり、この事は2
年後の京都大会に向けて急ピッチ
な作業が要求されることになろう。

その他の訪問先としては、特に
VIRGINIA POLYTECHNIC
INSTITUTE & STATE UNV.
では熱烈な歓迎を受け、8時から
16時まで30分ないし1時間刻みの
5研究室の見学と6学部での会見
が行われ、前学長の出席までであ
った。留学を含む企業参加への勧誘
が頻りであった事が印象深い。

NIST, UL, DSETを含め、重量
9kgにも及ぶ膨大な資料の提供を
受け、余りの重さと容積に些か閉
口したことも思い出となった。

いずれにしても、米国での物理
化学面の基礎研究の充実と各機関
の企業的意欲の発言には目を瞠る
ものがあり、洗練されたPR方法も
含めて我々企業にとっても大いに
参考とすべき点に感銘を深くした。

終りに臨み、今回ツアーに参加

された方々の活力と協力によって
支障なく楽しい旅行であった事、
また、周到な事前準備に関係され
た方々の陰のご努力の賜物であっ
たことに感謝の意を表して、総括
的な報告とする次第である。
〈後記〉入手した日本の発表内容
への評価は、次のようなものであ
った。

- 欧米は通説的で新鮮味に欠けて
いたが、日本はハイライトがあ
って良かった。
- シーリング管理士制度に関心が
集まった。
- 寿命予測式が注目された。
- 期待される分野などが明瞭であ
った。

ASC国際会議に 出席して

論文発表者：横浜ゴム
広石真孝

成田を発って約10時間の長いフ
ライトを終えて国際会議の会場で
ある、バージニア州のハイアット
リジェンシーホテルに着き、旅の
疲れを癒やす間もなく、その翌日
からASC国際会議は開催されま
した。「関税と貿易」と「技術」の
2つのセッションが有りましたが、
以下は後者のみについて記載しま
す。「第1日目」（10/29）のスケ
ジュールは以下の通りです。

テーマ名：輸送

発表者：FEICA（欧州）

ブルーノ・デシャンブ氏、

ヘンケルフランス社（仏）



ASC会場前にて

J A I A (日本接着剤工業会)
田巻利夫氏,
日立化成ポリマー (日)
A S C (米国)

ジェームズ・レンショウ氏,
モンサントケミカル社 (米)

それぞれが30分ずつの発表をカラーライドを用いて英語または日本語で行い、我々聴講者はヘッドホンを使って同時通訳者を通じて英語または日本語のどちらかで聴く事が出来ます。しばらく聴いている中に、発表者の話し方が早いと通訳がついて行けず、非常に聞き苦しくなる事が分かったので、明日の自分の発表の時は思い切り間をとってやろうと心に決めました。その夜は明日の発表をひかえて何となく興奮気味なのと時差ボケで良く眠れませんでした。10/30の朝が来ていよいよ発表の日です。スケジュールは以下の通りです。

テーマ名：建築

発表者：A S C ベッツィー・ピーターソン女史，モートンインターナショナル社 (米)
F E I C A スペインゲ・アクセンファルク氏，カスコノーベル社 (スウェーデン)
J S I A (日本シーリング工業会) 筆者

当日は午前7:15からスピーカーだけの朝食会がある事を事前に知らされていたので、そそくさと出掛けました。会場にはA S Cの事務局と発表者の人達が10人程度集まっており、それぞれが自己紹

介をしたあと食事が始まりました。食事を終えて、いよいよ発表の為の打合せが始まろうとした瞬間、男の人が部屋に入って来て私に何やら言うのです。良く聞いて見ると何と私の集合場所が間違っていると言うのです。結局あとで分かった事ですが、同時刻に「関税と貿易」と「技術」の2つの朝食会が僅か10メートル程離れた2つの部屋で行われており、私は「関税と貿易」の方に間違っ出ていたわけです。すぐに正しい方の部屋に行き無難に収まりましたが、それにしても食事が済んだ後まで本人を始め誰も間違いに気付かなかったとは、今思い出しても滑稽です。さて全員で会議場に出掛け、カラーライドの調整にとりかかりました。私にスライドを出せと言うので前もって送ってある筈だと言ったが持って来てないと言うのです。この件は私が念の為に予備のスライドを自分の部屋まで持って来てあったので、あわてて取りに行き無事に収まりました。ホッとしてスライドのリモコン装置の使い方などを教わっていると今度は同時通訳の女性が来てスライドの説明文を持っているかと聞くのです。これもASCに送ってある筈だと言ったものの自分はもらっていないと言うのです。すぐに原稿を渡してコピーをしてもらいました。これが会議開始の約15分前です。同時通訳者は前持って原稿を十分吟味して内容を把握しておくものだと私は信じていたので、こ

こでも再度びっくりしました。聴講者の人数ですが、後で聞いた所、今回のA S C会議には18カ国、580名が参加したとの事なので、仮に同時に行われた2つのセッションに2分されたとして、約300名だと思われま。最前列の指定席には、スピーチの後で行われるパネル討議に参加する為に我々ツアーメンバーの13名が頼もしく控えています。いよいよ定刻になり米国のベッツィー・ピーターソン女史のスピーチから開始です。スピーチの内容を要約すると凡そ次のようになります。

市場規模：15億ドル (建築用シーリング材と接着剤)

内容：コーキング材/シーリング材と接着剤について触れたが、前者のみについて要約を以下に記す。

1. ブチル，含油樹脂，ポリブテンは下降傾向にある。
その理由は、コストは安いだが性能が悪く、溶剂量も多く好まれないからである。
2. アクリル及び瀝青質ブレンドが90年代には増えると思われる。但しアクリルエマルジョンはムーブメント追従性と耐



会議風景

用年数向上の為の改善が必要である。アクリル溶剤型は完全に硬化して、もっと弾性になるポリマーの開発が条件となる。瀝青質ブレンドシーラントが伸びる理由は、低コスト、高品質の為であり、特に硬化可能なポリウレタンやスチレン/ブタジエン・ブロックポリマーと共に使うとその可能性が強い。

3. 90年代はウレタンとシリコンが主体となるが、ウレタン、アクリル、シリコン等をベースとしたハイブリッド（あいの子）ポリマーが使われる事になろう。
4. ファイアストップやインチュメセント（膨張性シーラント）のような耐火シーラント（シリコン発泡体）が出て来ると思われる。
5. 接着剤分野ではエポキシ技術が向上し、100%固型分の変性エポキシが出て来ると思われる。

次はスウェーデンのアクセンファルク氏のスピーチです。その内容を要約すると凡そ次のようになります。

内容：セラミタイル用接着剤、床材用接着剤、シーリング材、断熱用製品、壁材用接着剤について触れたが、この中のシーリング材についてのみ要約を以下に記す。

市場規模：建築用シーリング材は5.3億ドルであり、この中

0.9億ドルがDIY用である。

技術面で今後、成長する市場：SSG

基材別傾向：1成分形が主体である。1成分形ウレタン、シリコン、アクリルは2成分形を置換しつつある。

市場/技術の動向：

1. 多くの国で公共建築物の施工にあたって、認定製品を使う事が義務付けられている。たとえばフランスではSNJFを、ドイツではDINを等々。
2. 無毒無公害の要求が強まり、メチルグリコール（メタノールのこと？）トルエン、キシレンなどが嫌われている。この為、水ベースのアクリル、シリコンの検討が始まっている。
3. 廃棄物を減らす目的でカートリッジ→袋（ソーセージ）への置換が始まっている。
4. DIY用途のシーリング材の作業性改善が進んでいる。
5. シリコンの売値がダウンした事で、高沸点溶剤をシリコンにブレンドする事が行われている。

90年代の動向：

1. 無公害、高品質の要求がますます強まり、ニュートラルキュアのアルコキシシリコン、水ベースのアクリル、シリコンが出て来る。
2. SSG用シリコンが増える。
3. 改良が目的の新バインダーの発掘が見られる。たとえば、

アクリルデイスパーション（セラミック、非多孔質面への接着性改良）新アルコキシラン末端ポリマーなど。

4. 使い勝手の良い包装容器として袋が使われる。

ここで20分の休憩があった後いよいよ私の出番となりました。セッションチェアマンのアレント氏から私の短い紹介があった後、拍手に迎えられて壇上に立ちました。日本語で「ゆっくり」を意識しながら話し始めましたが、自分でしゃべっている事を直接、理解出来るのは一部の日本人だけだと思うと緊張も次第に薄れて、落ち着いて行くのが分かりました。スピーチの骨子は凡そ次の通りです。

1. 編集者とメンバーの紹介
2. 日本シーリング工業会の紹介
3. 本発表の目的
4. シーリング材の現在の基材別、用途別需要と1995年の販売予測
5. 日本のシーリング産業の特徴
 - 5-1 2液形が多いこと—可使用時間のきめ細かい調整、小型ミキサーの存在
 - 5-2 熟練した施工技能者の存在と資格制度の存在
 - 5-3 シーラント関連商品を扱う販売店の存在
6. シーリング材の耐用年数推定式の紹介及び計算例
7. 90年代の技術動向——耐久性と意匠性について予想改良項目を基材別に説明
8. 拡大が予想される市場——

SSGシステム、複層ガラス、
窯業系サイディングボード

最後に1992年5月に日本で接着剤・シーリング材国際会議をやる事が既に決定している事もあって日本の風景を13枚程のスライドで写しました。最後のしめくりを予め用意した英語で始めましたが、途中で挿入した冗談に対して笑い声をしっかり聞く事が出来たので、思わず「やった」と思いました。自分の席に戻ると、ピーターソン女史とアクセンファルク氏が共に「素晴らしいスピーチだったよ」と小声で言ってくれ、お世辞と分かっている嬉しさが込み上げて来ました。続いて30分間のパネル討議に入り、予めスピーチの時間内に聴議者によって記入された質問票が読み上げられました。以下は私に寄せられた質問の内容です。

1. シーリング管理士の受験費用は誰が負担するのですか？
2. シリコンと変成シリコンの違いは何ですか？
3. SSGとは何ですか？（因みに外国でこの略号は充分普及していないようです）
4. シーリング材の耐用年数推定式から計算した耐用年数と実際の耐用年数との間に相関が見られますか？
5. 1液、2液共に動く目地に使う事は可能ですか？
6. サイディング用シーリング材にはどんな物が使われていますか？
7. プライマー中の溶剤について

日本ではどんな規制がなされていますか？

の通りでした。何れもだいたい予想していた質問であったので、会場の前列にいる我がツアーメンバーの助けを借りずに自ら答えてしまいましたが、4.に対する回答は今後も継続して質問される可能性があり、我々の重要研究課題であると考えます。これですべてが終り、最前列の平野団長他全員の仲間達から「御苦労様、大変良かったよ」とねぎらいの言葉をかけられ、今まで張りつめていた緊張感が瞬時にしてふっとびました。この夜の晩さんはテイスト・オブ・アメリカーナと称して米国内の代表的4地域の料理がビュッフェ形式で出されました。出席者はすべてインフォーマルでローカルカラーのある服装をするようにとの要請が前もってあったので、多くの人々が色とりどりの勝手な嗜好をし、私自身は法被に豆絞りの鉢巻姿で出席しました。日本人の皆さんの中には着物や紙カブトなども見られました。約600人を収容した大会場にはデキシーランドジャズの生演奏が流れ、100個近いと思われる丸テーブルの中心からカラフルな風船が天井に向かってゆらめいて、会場は華かさ一色に包まれました。やがて主催者であるASCの方達のジョーク（正確には皆が笑ったのでジョークと思われるもの）を交えた挨拶があり、我が平野団長も御指名で壇上に立ち、御自分の名前をイングリッシュコ

ンポジション（英作）と言って大受けしていました。次いで、日接工会長の発声で日本人全員が会場のあちこちで立上がり、3本締めの手拍子を決めた時は割れるような拍手を浴びました。やがて合唱団による反戦歌がピアノ演奏で流れ出すと、会場は一転して静まり返り、ほのぼのとしたムードの中で閉会となりました。その後は全員が平野団長の部屋に集り、私の為に慰労パーティを開いてくれました。その時皆で分け合ったインスタントみそ汁のノスタルジックな味と共に、この瞬間は私にとって忘れられない思い出になる事と思います。

第3日目（11/1）のテーマは包装で以下の発表が行われました。

テーマ名：包装

発表者：JAIA（日本接着剤工業会）

松本陸夫氏

新田ゼラチン（日）

ASC ダグラス・ウィリンスキー氏、クォンタム・ケミカル社（米）

FEICA ケニスブース氏、ライヒホールドケミカル社（英）

今回初めてASC国際会議に参加して幾つか感じた事を最後に書いて見たいと思います。先ず、建築用シーリング材に関する3者の発表を比較して見ると、日本は現場でのトラブルを如何に少なくしてユーザーに満足してもらえるかという点に力点を置いているのに対し、諸外国はコストに力点を置

く一方で、安全、環境破壊に大きな関心を寄せている事が分ります。次にASC国際会議の主体は勿論、会議自体にある訳ですが、会議以外の時間帯もかなり余裕をもってとっており、この場が出席者の間でコミュニケーションをはかる絶好の機会となります。

しかし、日本人の場合は「言語壁」もあってどうしても日本人同志でかたまってしまいう傾向があります。これを解消するには今後も日シ工から折に触れてASCの各種会議に人を派遣して日本の存在をPRするのが良い方法だと思います。1992年5月には日本の京都で会議が開かれる事が決まっていますが、どういう事をやりたいと思っているのかという質問を日接工の代表の方が受ける位、我々がホスト役として積極的に行動する事を彼等は求めています。確かに建築用シーリング材に限って言えば、技術面では日本が西欧に学ぶものは最早、殆ど無いかも知れませんが、一方で環境問題などに関しては彼等の方が真剣に取り組んでいるといえそうです。何れにして、業界の発展の為には今後共、諸外国との情報交換が必要であり、その為には日本の外交姿勢で批判されるようなお義理の参加ではなく、積極的な日本のリーダーシップが求められているといえると思います。今回はASC国際会議に初めて、しかもプレゼンターとして日本シーリング工業会を代表する立場で出席させて頂きました。何

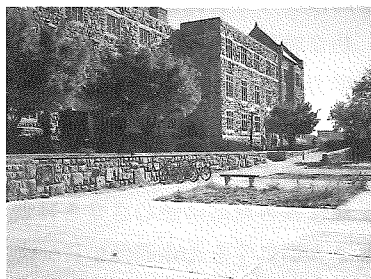
分にも力不足ではありましたが、幾分なりとも日本のシーリング産業の実態ならびに我々の考え方を諸外国に知ってもらう目的は果せ得たと思っております。これは今回のツアーに御協力頂いた多くの皆様の御支援の賜物であります。ここに紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

バージニア工科大学 (Virginia Polytechnic Institute & State UNV) 訪問

横浜ゴム ハマタイト技術部
齋藤昭博

ASC国際会議に出席するよう上司より指示を受け出発前のミーティングに出席する内に、緊張と不安の中で出発の日を迎えた。約10時間の飛行機の長旅でワシントンD.C.に到着。そのまま会議の開催されるホテルに直行後、息つく暇もなく歓迎ツアーに出かけ、あっという間に1日目が過ぎ会議が始まった。会議については別に報告されるので、ここでは省略する。

国際会議終了後、バージニア工科大学、NIST、UL、DSET等を訪問したが、印象に残ったバージニア工科大学のCEN-



バージニア工科大学

TER FOR ADHESIVE AND SEALANT SCIENCE (通称CASS) について紹介したい。CASSは1982年設立され、化学、材料、メカニクのそれぞれ独立した分野から、1つの統合した研究と教育のプログラムを開発し、それに基づいて新しい接着の科学を創る事を目的としている。具体的には、接着の科学、表面分析技術の原理と応用等のコースがあり、いろんな方面より接着剤を検討している。研究室を訪問して、研究内容について説明を受けたが、我々にもなじみの深い試験機器も使用しており、少なからず愛着を覚えた。

13日間という国際会議と視察旅行の中で、いろんな点でとまどう事も多くありましたが、大変貴重な経験をさせて戴いたと思っています。最後に、平野団長を始め、皆様に大変お世話になり、感謝する次第です。

UL訪問記

東芝シリコーン
篠沢一義

インディアンサマーのニューヨークマラソンの翌日、シカゴは冷たく、ときよりみぞれ模様の寒い日であった。生まじめ組の5名(平野団長以下、広石、齋藤(横浜ゴム)、秦(アルファ産業)の諸氏)はシカゴの北約20mileのNorthbrookにあるUL本部に向かった。



事前に連絡してあったので、スムーズに防耐火部門に案内された。会議室にはすでにホスト4名が待ちうけていた。日本なら着席後おもむろにホスト参上といった所だが……。

そもそもUL (Underwriters Laboratories, Inc) は主に安全性に関する規格制定、評価、認定公表を行なう民間の機関で、広くアメリカで活用され権威がある。プラスチックの難燃性としてUL94が日本では知られているが建築材料の関係では日本ではなじみが薄い。今回、シーリング関連ということで防耐火部門を訪問することにした。

最初にUL全体の説明を受けた後、防耐火部門のマネージャーW. S.Mete氏から防耐火関係の説明があった。そこで建築材料がらみの規格として以下の5つが紹介さ



UL

れた。UL9 (Fire test of window assemblies), 10B(Fire test of door assemblies) 723 (Surface burning characteristic of building materials), 263(Building construction & materials), 1479 (Through penetration fire stops)。これらは防火戸耐火性能試験などに相当するもので、シーラント単独での試験ではないようである。また1479は床壁貫通孔の工法の耐火性試験として独立している。当日戴いた1990年版の認定リストブック (Fire resistance directory 1990) に発泡シリコンによるFire stop 工法が数種類記載してあった。日本建築センターの耐火性能評定と同様の位置付けと思われる。

採用にあたって、設計者はULリストから工法、材料を選択したり、要求性能として規格をとり入れるなどで活用している模様である。

次にLaymon氏 (エンジニア) により所内見学に移り、表面燃焼炉、壁貫通部大型耐火試験炉、構造体の耐火炉、遮煙に関する試験機などについて説明を受けた。シーラントとは直接関係がないものの、日本ではほとんど見る事のないものばかりで興味深かった。

約2時間という限られた時間と語学力不足で十分なディスカスができなかったのは残念であった。しかし膨大な資料を頂戴し、また丁寧な接客対応に感心させられた。客を大切にせるAmerican Hospitalityが強く印象に残った訪問で

あった。

アリゾナ暴露施設 (DSETラボラトリー) 視察

セメダイン 脇本広幸

フェニックスへ向かうため、シカゴ・オヘア空港に着いた時には、みぞれはすでに上がっていた。夕暮を感じさせる晩秋のシカゴであった。視察旅行もすでに半ばを過ぎた。2日続きの夜の移動で、多少疲れが出たのか、機内食が進まない。

定刻通り、11月5日21時30分、アリゾナ州フェニックスに到着した。シカゴの肌寒い気候とは一転して、米国有数の保養の街フェニックスはさすがに暖かい。飛行機を降り、ロビーに向った。出迎える場所にガイドらしき人がいない。見過ごしたのかもしれないと思い、皆で探したが、やはりいないようだ。20分ぐらゐ過ぎた頃、息を吐きながら、中年の女性が走って来た。彼女の説明では、飛行機が1時間程遅れるとの情報があったので、その時刻に合わせたことのであった。

翌朝、アリゾナ暴露で国際的に知られている、DSET社に向かった。空は快晴で雲ひとつ見当たらない。抜けるような青空が、印象的である。日差しは強いが、空気は乾燥していて湿気を感じさせない。街を出るとすぐに、灌木とサボテンと石ころだらけの荒涼とし



EMMAQUA

た砂漠が広がっている。この変化
乏しい景色の中を、40分程車で
走ると目的地に着いた。

DSET社は、フェニックス市の
北方約50km、リラノ砂漠の北端
ニューリバーに位置している。社
屋は意外にも質素な造りで、国際
的イメージとはほど遠い。しかし、
暴露試験場の規模は、さすがに大
きい。試験場面積の2/3に実時
間暴露架台、1/3に300台弱はあ
るとされる太陽追跡集光装置
(EMMAQUA)が整然と設置され
ており、その迫力には圧倒された。

DSET社の事業内容の説明を受
けた後、施設の見学を行った。こ
施設でEMMAQUAが設置され
ている理由は、この環境が紫外
線透過率が高く、促進暴露の効率
が大きいからだそう。他の地域
は、光の散乱が大きく、アリゾナ
程の促進効果が得られないとの
ことである。

視察に先立ち、日シ工から
DSET社へ質問を送付していた。
質問に対する回答がないので不思議
に思っていると、どうやら
DSET社は、我々の考えていた研
究所ではなく、規格及び依頼者の
要求するプログラムに従い暴露を

実施し、光学的、物理的性質を測
定する試験会社であることがわか
った。訪問前のイメージとは多少
異なった感じではあったが、国際
的に第1級の暴露施設を視察でき、
大変有意義な旅行であった。

創造の対比

ーラスベガスと

グランドキャニオンー

A. H氏記

11月5日、連日の国際会議と視
察研修の疲れをいやすべく空路ニ
ューヨークからラスベガスへ飛び、
ラスベガスの夜とグランドキャ
ニオン観光を楽しんだ。

ラスベガス到着は夜7:30分、
周囲が砂漠のド真ん中に煌々とネ
オンがきらめき真に一大不夜城で
ある。これこそアメリカ!! これに
比べると日本の観光地などはチャ
チとしか言いようがなく、まさに
箱庭的な言葉がピタリする。アメ
リカは今、経済的に色々言われて
いるがこれだけのものを人工的に、
計画的に創りあげる底力は空恐し
い気もしてくる。聞くところによ
ると、ラスベガスは1870年代にフ
ーバーダムの建設が始まり、その
労務者を集める為にカジノを公認
したのが町の発展の基礎となり、
その後1920~30年代、全米にギャ
ングが活躍していた頃、「そんなに
バクチがやりたけりゃラスベガス
で好きなだけやれ、そのかわり他
の町ではやるな」ということで全
国のギャングをラスベガスへ封じ

こめたのが大きく発展する基にな
ったとか。今は一般の人も気軽に
楽しんでいるが、こういう発想を
考え、又実行することがいかにも
アメリカ的だと思う。日本でもチ
マチマとマンショントバクの摘発
などやっつけていずに、例えば遠隔の
無人島に政府公認のトバク場を造
って、全国のギャングを皆そこへ
移してしまえば町の浄化にもなる
し過疎地の発展にもなるし国の税
収入も増えて一石三鳥と思うがど
んなものだろうか。

11月6日グランドキャニオンの
観光に行く。小型飛行機で上空か
ら全景を見たが、人工創造物のラ
スベガスと対比するかの様な雄大
な、そして呑みこまれそうな大自
然の創造物、これは言葉では説明
の仕様がなく見た人でなければわ
からない実感と思う。是非一度観
ることをお推めする。グランドキ
ャニオンの中で食事をしたが驚く
ことは、これだけの大観光地にか
かわらず宿泊施設は小さなロッジ
が数棟だけ、レストランもいかに
も古びた小さな店が2~3店、日
本ではちょっとした観光地には鉄
筋の大型ホテルがすぐに建つ。観
光地は景観こそ命である。こうい



ラスベガス

うところにアメリカ人の資源や景観を大切にしているのだと強く感じた。

NIST訪問

東レテオコール
斎藤聡一郎

11月2日(金)快晴の下、ASC国際会議が開催されたHyatt Regencyホテルをバスで出発し、メリーランド州GaithersburgにあるNIST(National Institute of Standards and Technology……国立標準・技術研究所)を訪問した。

NISTの前身であるNBS(National Bureau of Standards)



NISTにて

は商務省付属の国立機関として1901年に創立され、測量標準装置の研究・管理(例えばキログラム原器の保存など)、各種規格の制定(例えばシーラントの米国規格であるFederal 227Eおよび230Cなど)を行っていたが、1988年“技術競争力”強化を目的として組織改正を行ない、NISTとなった。

Edgerly氏(Director, Office of Technology Commercialization)の概要説明によると、2,000人の研究者にゲスト研究者(企業、他機関から派遣された研究者)が1,000人いるとのこと。共同研究を積極的に取り上げていると考えられる。

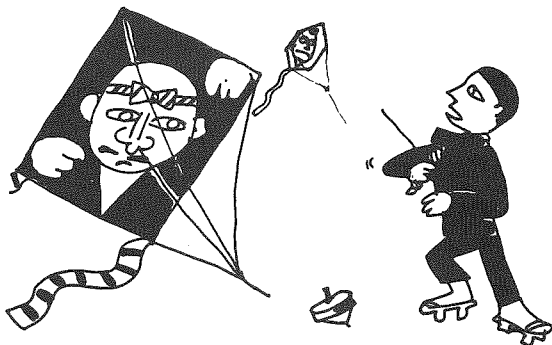
次いで、研究結果内容の紹介があった。初めは、ポリマー部門で研究している複合材料に用いる構造接着剤についての説明である。超音波による硬化反応の進行度合の検討、ゴム粒子によるエポキシ樹脂のタフネス向上、接着破断面の電子顕微鏡による分析の3内容について説明があった。複合材料の分野は、今後も急速に進歩する

と考えられ、複合材料用シーラントも今後必要かなと感じさせられた。

次いで、屋根防水用EPDMシーラントの接合部について研究紹介があった。米国では10億平方フィート(約1億平方メートル)のEPDM防水が使用されており、現場クレームの70~80%は接合部の問題である。研究の結果接合部に用いる接着剤の厚みが重要なポイントであることがわかったとのこと。現場での問題の解析と原因究明の方法はシーリング材についても応用できると思われる。

最後に、標準測定認定制度について紹介があった。NISTが認定したラボでは、認定された試験測定項目について、外部からの試験委託を受けて権威のあるデータが提出できる制度である。

米国有数の研究機関であるNISTと日本シーリング工業会と共同研究または委託研究をするテーマがあるかなと思いつつ、バスで帰路についた。



実績と信頼の

シーリング材

PS2000

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

ポリサルファイド系シーリング材

MS3000

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

変成シリコン系シーリング材

U3000

JIS-A-5758 8020認定品

ボニーシーラー

ポリウレタン系シーリング材

RH200D

JIS-A-6024規格合格品

エポセット

エポキシ系注入剤

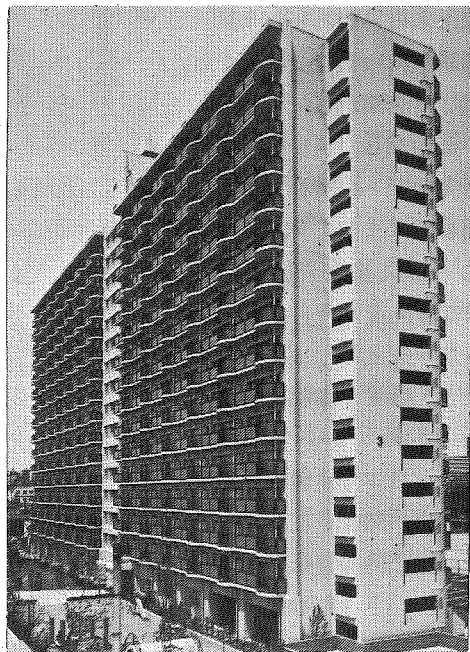
⑧ テイパ化工株式会社

本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄 3-11-28
TEL 大阪(06) 328-1118(代表)
東京営業所 〒105 東京都港区新橋 6-10-3 (遠江ビル)
TEL 東京(03)3431-9357(代表)

- 屋上防水工事
- 外壁防水工事
- シーリング工事

外壁補修工事業協同組員
 全国パラテックス防水工事業協同組員
 東日本建設防水協同組員
 東日本シーリング工事業協同組員
 ゴムアスファルト防水工事業協同組員
 全日本プレハブ建築防水協会会員
 全国アロンコート・アロンウォール
 防水工事業協同組員

東京都知事許可 般2第36279号



株式会社 ジックス

取締役社長 出水 秀夫
 東京都渋谷区代々木 1-30-1
 TEL 03 (3370) 0121(代)

●本部事務局だより

昨年10月28日～31日にかけて、ワシントンでASC (The Adhesive and Sealant Council, Inc.) が主催する国際会議が開催されました。当工業会からも2名を派遣し、論文発表を行っております。詳細は会議参加者それぞれからの報告に委ねるとして、事務局としての感想を述べてみたいと思います。

今回の会議では統一議題のもとにそれぞれの国が発表し合ったので、焦点がしぼれお互いが比較対照が出来て有意義であったと思います。更に会議の合間にパーティーや近郊・市内の観光など多くのイベントが用意され、お互いが親密に交流出来る場があったり、一方では商談を持つ場を設けるなど、誠に充実した企画がされているのに感心いたしました。会議終了後、学校・研究機関・企業を4ヶ所ばかり訪問して来ましたが、それらの所でもらって来た資料は10kgばかりになり、それぞれ立派な書物やパンフレットになっているのを見ますと、さすが米国はPRの国だと思います。

1992年には日本が主催国となり、この国際会議が開催されますが、これだけの企画力や宣伝力があるだろうか、いささか心配です。

さて平成2年度の管理士検定講習会は今年1月25日～29日に開催されますが、今回も多数のご応募を受けましたが、20人ばかりの

方々にご辞退願わなければならなくなり、誠に申し訳ないと思っております。今回の受講者は管理士69名、技術管理士92名となりました。

昨年は物流費の高騰、金利高、原油価格の騰貴など企業にとっては多事多難でしたが、シーリング材の出荷は順調に推移し、概ね10%前後の伸びであったと予想されます。

1年の計は元旦にありと申します。今年はどんな計をお立てになりましたか、三日坊主にならぬよう一日一日を大切にしたいと思います。然し今年はイラク問題が最大の関心事でしょう、一日も早い平和的な解決を望むばかりです。



本部事務局員を勤めていただいていた森田慶子さん(写真)が、11月20日付で退職されました。大変まじめに一生懸命頑張っていたいただきました。ごくろうさまでした。

●北海道支部の動き

昨年は道内の建設業界も多忙を極め、シーリング工事業の皆さんも人手不足等も重なり、年末迄施工を余儀なくされたものと思います。この支部便りが届く頃は、北海道も冬の真ただ中で、寒さも一段と厳しい季節ですが、反面不需要期ということもあって、新年度への準備活動も盛んな時期です。1月末には例年実施されておりま

す、日乾防北海道支部との共催による「寒冷地に於けるシーリング材のサイディング施工について」の講習会も函館地区で予定されており、準備を進めているところです。昨年は何かと忙しく雑用に追われ、会としての行事も怠りがちでありましたが、今年は北シ協組と協力し実のある活動をしていきたいと考えております。

●仙台支部の動き

東北地方は今年は暖冬の為、シーリング工事も順調に進んでいます。この影響で、ゴルフ場はウィークでも満員でスキー場は、雪無しでスキー場開きで雪乞いの御願いです。今年も東北地区経済も活発で、平成2年度の景気を3年度に継続できる様期待しています。各県の各業界で人手不足が顕在化し、中央の大手工場が進出する事に、地元の中小企業の若手労働者が、転職の為仕事有っても生産が出来ず、労働倒産も今後大きな問題になりそうです。

今後中央より進出企業も、東北地区の労働者不足を念頭に入れて進出しないと、人手不足で生産が上がらない状態が続く様です。輸送費・材料費等の値上げも、一応おちついて来ましたが、イラク次第の経済力では、中央より地方が先にまいってしまいそうですが、平成3年も大きな開けた東北地方として飛躍の年にしたいと思います。

●東京支部の動き

今年も残す所、あと1ヶ月となりました。今年度の行事を振り返ってみると、意気込みはあっても、十分な活動が出来ず、1年は本当に早く過ぎるものだと痛感しております。総会・会則改訂、支部懇談会(含むコンペ)、外部講師(ニール・ビジネス協議会・専務理事・下村 澄先生)を招聘しての講演会開催で今年も終りそうです。

シーリング業界も他業種同様、昨年に引き続き相も変わらず多忙を極めており、慢性的な人手不足が続いております。各社各様の努力が実を結ぶことを願ってやみません。

首都圏では、年々交通事情が悪化しており、7日会メンバーもデリバリーに日々頭を悩まし、コストアップを余儀なくされております。

互いに努力し、改善を重ね、材・工が適正なる利潤を得る事により、次なる改善への投資が出来るものと考えております。材・販・工の更なる研鑽が肝要と思われま

す。最後に、我々シーリング業界にも多大の影響を及ぼしている、中東問題の早期解決を望み、来年は今年より、より良い年である事を切に願っております。

●名古屋支部の動き

今年も建設工事盛況の中に終ろうとしています。振り返って見て、

当支部関係では中部シーリング工業事業協同組合が9月に発足され、一段とスケールアップされたことがあげられます。当組合の益々の発展を期待するところです。

しかし、我々を取りまく環境は、厳しさを加えて来ました。先に始まった運賃、副資材等の高騰に加え、イラク侵攻後には原材料が値上りしました。

受け入れる環境にはきびしいものがありますが、材販工一体となって、各々がお互いを信頼し辛抱強く頑張り続けたいと考えます。

●大阪支部の動き

中東の湾岸危機による原油の高騰は、業界にも多大な影響を与え、各メーカーはシーリング材や接着剤など、石油関連製品の価格改訂に奔走しています。

原油状況や為替動向次第ではまだまだ流動的であり、ここ暫くは、各社ごとの価格改訂作業が大半の仕事となるでしょう。

当支部では11月7日に幹事会を開催し、12月3日に開始する日シ工、なにわ会、関シ協、三者による市場懇談会の下打合せや、来年2月に開催する研修会のテーマを決めたりしました。

市場懇談会が終われば、本年の支部活動は終了し、忘年会を待つのみと云った処です。

●広島支部の動き

あけまして、おめでとうございます。皆様、「干支」にふさわしい

飛躍を期待し希望に燃えている事と思います。

当広島地区も昨年に引続き3年後のアジア競技大会関連の諸建築物やホテルの物件が計画されており、シーリング関連の仕事は、比較的順調と予測しております。

しかしながら、御多分にもれず、人手不足や高令化問題は深刻にて、その補充策や仕事にふさわしい報酬の確保策が、今年の大きな懸案事項となることでしょう。

●九州支部の動き

中近東での政情不安による原油の高騰による石油製品(原材料)の値上げ又人手不足による工事のおくれ又人手不足倒産、原油、人手不足等による輸送(運送会社)関係の値上等々これから年末にかけて世の中が益々さわがしくなっている中、大相撲九州場所も11月11日(日)から11月25日(日)まで15日間開催と博多の町もにぎやかさを増して来ている今日このごろです。現在福岡ではシーサイドももち浜でのダイエーツインドーム計画が実施にうつされて大型プロジェクトが福岡を中心として今後10年間の間に総額20兆円の投資が計画されており、東京、大阪について第3の大都市となっていく、我々業界(建設関連業界)も今後益々発展していくものと思われま

す。この為にも業界自体が襟を正し、又共存共栄していく良い機会であろうと思います。

時代の進化をサポート。

建築用弾性シーリング材

ハイボン®

2成分形ポリサルファイド系

Hi-Bon 1000

2成分形ポリウレタン系

Hi-Bon 5000

2成分形変成シリコン系

Hi-Bon 2000

1成分形ポリウレタン系

Hi-Bon 5100

☎表示許可工場

日立化成ポリマー株式会社

東京都千代田区内神田1-13-7 (四国ビル)〒101



**エド印 エアー式
コーキング・ハツリシステム**

PM-106M

**ハツリ効率
3倍アップの
ハイパワー**



小型・軽量(800g)
サッシまわりにも使用OK!

- コーキングチッパー CCM-M
(空気消費量0.23m³/min)
- チゼルMC-7・MC-12・MC-15
(刃幅7mm・12mm・15mm)

システム内容

PM-106M…コーキングチッパー・CCM(チゼル付)・エアーホース・軽便グラインダー
電源トリプルコード・コンプレッサ

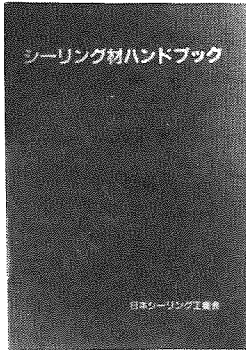


日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎0729(62)1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎03(3550)3671(代)

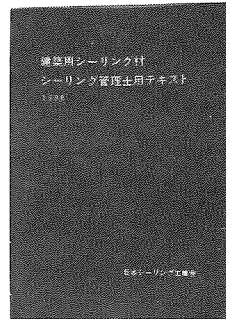
名古屋 ☎052(915)0431(代)
札幌 ☎011(251)5721
仙台 ☎022(284)5602
厚木 ☎0462(22)7631
高松 ☎0878(61)6110
広島 ☎082(292)4422(代)
福岡 ☎092(431)0395(代)

改定版・シーリング材 ハンドブック



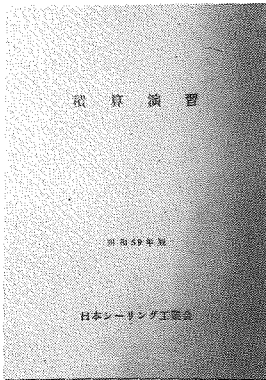
好評のシーリング材ハンドブックの改定版。JIS、JASS、建設省建築工事共通仕様など最新情報を随所に盛り込んだシーリング材の案内書。シーリング材の特性と選び方に重点を置いた実用書として、誌面も解り易く見易い構成になっています。
頒布価格 1,000円

新・建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1988



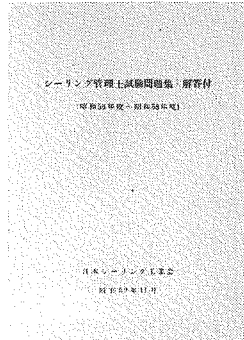
内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を旨とした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。
頒布価格 4,500円

積算演習



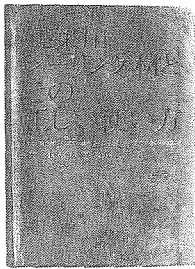
図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。
頒布価格 1,000円

シーリング管理士試験 問題集・解答付(60~62年度)



問題集として最近3年間(60~62年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。
頒布価格 1,000円

建築用シーリング材と その正しい使い方

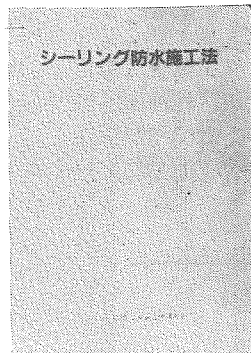


わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工学博士の監修による、シーリング関係

者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授、小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめわが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
(会員頒布価格 4,300円)
(消費税別途)

シーリング防水施工法 改定版



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛り込み解り易く解説した実務参考書。内容は▶建築物の基礎知識▶シーリング防水の基礎知識▶良いシーリング防水工事▶良いシーリング防水工事のためのディテールシート▶故障と補修の構成。
日本シーリング工事業団体連合会発行
頒布価格 2,500円
(消費税別途)

(送料は別途申し受けます)

日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング防水の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカー及び取扱業者が加入しており、全国に7支部を有する全国的組織であります。

事業

- シーリング管理士、シーリング技術管理士の養成
- 日本シーリング工事業協同組合連合会と連繫、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS, JASSへの協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究
- 機関誌「シーリング」(年1回発行)
- シーリングニュース(年3回発行)

日本シーリング工業会の組織

《委員会》

《分科会》

- | | |
|-------------------|-------------|
| 総務委員会 | 機能別分科会 |
| 技術委員会 | 弾性系1成分形分科会 |
| 広報委員会 | 弾性系2成分形分科会 |
| 調査委員会 | 非弾性系1成分形分科会 |
| シーリング管理士
検定委員会 | |

《支部》

- 北海道支部 仙台支部 東京支部 名古屋支部
大阪支部 広島支部 福岡支部

シーリングニュース第41号

企画・発行：日本シーリング工業会広報委員会
〒101 東京都千代田区外神田2-2-17
共同ビル ☎03-3255-2841~2
FAX 03-3255-2183
製作協力・広告：新樹社
表紙写真：子猫

日本シーリング工業会会員

- | | |
|----------------|---------------------|
| (株) エービーシー商会 | 東芝シリコーン(株) |
| オート化学工業(株) | 東レ・ダウコーニング・シリコーン(株) |
| カネボウ・エヌエスシー(株) | 東レチオコール(株) |
| 関西パテ化工(株) | 日興化学工業(株) |
| コニシ(株) | 日東電工(株) |
| サンスター技研(株) | 日東ポリマー工業(株) |
| 三洋工業(株) | 日本シーカ(株) |
| サンライズメイセイ(株) | 日本添加剤工業(株) |
| シャープ化学工業(株) | 日本フランシール(株) |
| 昭石化工(株) | (株)ノーベル樹脂化学 |
| 信越化学工業(株) | バイエル合成シリコーン(株) |
| (株)スリーボンド | (株)服部商店 |
| 世界長(株) | 早川ゴム(株) |
| セメダイン(株) | 日立化成ポリマー(株) |
| (株)タイルメント | 保土谷建材工業(株) |
| 大日化成(株) | 三井東圧化学(株) |
| 武田薬品工業(株) | 三星産業(株) |
| テイパ化工(株) | ヤマウチ(株) |
| (株)東亜応用化工 | 横浜ゴム(株) |
| (株)東郊産業 | |

賛助会員

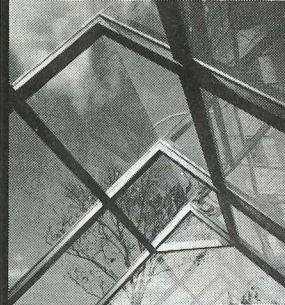
- | | |
|--------------|------------------|
| 旭化成工業(株) | (株)ダイフレックス |
| アサヒボンド工業(株) | タカビシ化学(株) |
| (株)井上製作所大阪支店 | (株)日本カーテンウォール工業会 |
| (株)小野田 | 日本触媒化学工業(株) |
| 化研マテリアル(株) | 日本ソセー工業(株) |
| 鐘淵化学工業(株) | 日本バックアップ工業(株) |
| (株)菅野製作所 | 日本ポリウレタン工業(株) |
| 光栄商事(株) | 野口興産(株) |
| (株)昭和丸筒 | (株)野村事務所 |
| 白石カルシウム(株) | 日立化成工業(株) |
| 白石工業(株) | フヨ一(株) |
| (株)新和商会 | ミキスタ工業(株) |
| 大進商工(株) | |

大阪支部賛助会員

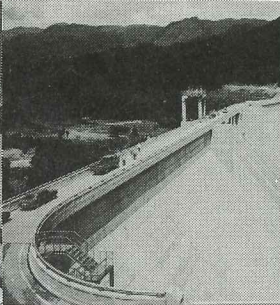
- | | |
|--------------|------------------|
| 栄光産業(株) | (株)ジャビコ |
| 大阪御国商事(株) | 竹原化学工業(株) |
| 鐘淵化学工業(株) | (株)野村事務所 |
| 鐘工工業(株) | フヨ一(株) |
| 岸田資材工業(株) | (株)前田精市商店 |
| (株)旭栄 | 三国金属工業(株) |
| (株)井上製作所大阪支店 | (株)宮崎 |
| 三省物産(株) | モリシタ化学産業(株) |
| 白石カルシウム(株) | (株)山本製作所 |
| 白石工業(株) | ヨコハマゴム工業品関西販売(株) |

ShinEtsu

信越シリコーン



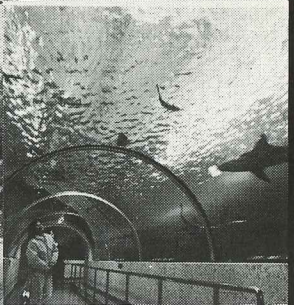
プラスチック用 シーラント72



土木用 シーラント70



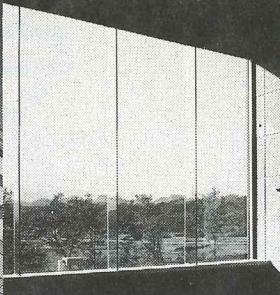
ガラス用 シーラント45



水槽用 マリンシーラントGX



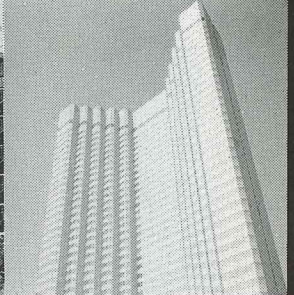
SSG構法用 シーラント90



ガラス用 KE42



リフォーム用 シーラント79



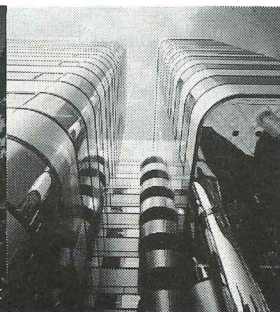
超高層用 シーラント70



土木用 シーラント70I



超高層用 シーラント70



SSG構法用 シーラント76



防カビ用 シーラント4588

信越シリコーンシーラント

耐久性能と実績。

信越シリコーンシーラントは、耐久性、耐候性、耐熱性、耐寒性などにすぐれた高性能弾性シーリング材です。ほとんどの材料とよく接着し、一般住宅、超高層ビル、土木工事、水槽などの各種目地に幅広く使われています。

信越化学工業株式会社

〒101 東京都千代田区神田錦治町3-6-7 フジトシビル
シリコーン事業本部 国内営業第三部 (03)3256-3651

大阪支店(06)444-8226

名古屋支店(052)581-6511

福岡支店(092)781-2782

札幌営業所(011)221-6471

仙台営業所(022)264-2777

新潟営業所(025)247-3321

北陸営業所(0776)26-1551

長野営業所(0262)28-9104

北関東営業所(0273)63-2731

広島営業所(082)248-3931

高松営業所(0878)22-3613

機密が漏れても、 気密は守れ。



〈ハマタイト〉建築商品

- 2成分シリコーン〈シリコーン70〉
- 2成分変成シリコーン〈スーパーII〉
- 2成分ポリサルファイド〈SC-500〉
- 2成分ポリウレタン〈UH-30〉
- 1成分変成シリコーン〈スーパーワン〉
(高モジュラスタイプ)
- 1成分変成シリコーン〈スーパーワンLM〉
(低モジュラスタイプ)
- 1成分ポリウレタン〈シールエース〉
- 1成分シリコーン〈SS-310〉
- 1成分弾性エポキシ〈エポソフト〉
- ウレタン塗膜防水材〈アーバンルーフ〉
- 2成分エポキシ接着剤〈Y-1700TM〉
- 2成分ポリサルファイド〈PRC-428〉
- 2成分ポリサルファイド〈RC-100FT〉
- 2成分ポリサルファイド〈SM-101HT〉
- 合成樹脂系塗床材〈スムーニーフロアー〉



実績と信頼のブランド
HAMATITE®

情報うすまくメガロポリス。そこでは我々の目に見えない場所で、いつも誰かが、何かを守り続けています。例えば、ハマタイトの機能。ハマタイトは、都会に次々と出現する最先端高層ビルやテクノビルを陰で支える建築用シーリング材として、知る人ぞ知る存在。新宿副都心の高層ビル群、池袋のサンシャイン60、幕張テクノガーデンツインタワーなど数々の日本を代表する先端建築物に採用されてきました。ハマタイトは、カーテンウォール工法のビルの継ぎ目、窓などをしっかりとシールし、温度変化や地震などに柔軟に対応しながら、建物の気密性を守り続けているのです。また、プレハブ工法のモダンな住宅などにも活躍の場を拡げ、適材適所で幅広いニーズに応えています。漏れてはならない都会の気密、それはハマタイトが守ります。

横浜ゴム株式会社ハマタイト事業部
〒254 神奈川県平塚市中原上宿900 TEL.0463(31)3002